

デジタル ビデオカメラ レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Digital
Handycam

Mini DV Digital
Video
Cassette

DCR-VX1000

はじめに
2ページ～

準備
6ページ～

撮る
10ページ～

見る
15ページ～

使いこなす
18ページ～

ご注意など
62ページ～

詳しい目次は5ページにあります。

とにかく撮って見る

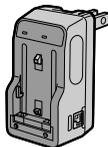
必要なもの

本体

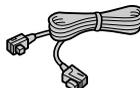


アクセサリキット(別売り)

ACパワーアダプター



接続コード



ミニDVカセット
本機にはミニDVカセットのみ使えます。

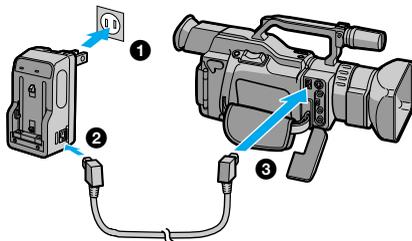


1

電源をつなぐ。

詳しくは23ページをご覧ください。

- 1 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。
- 2 接続コードをACパワーアダプターにつなぐ。
- 3 本体側面のゴムカバーを開け、接続コードをDC入力端子につなぐ。

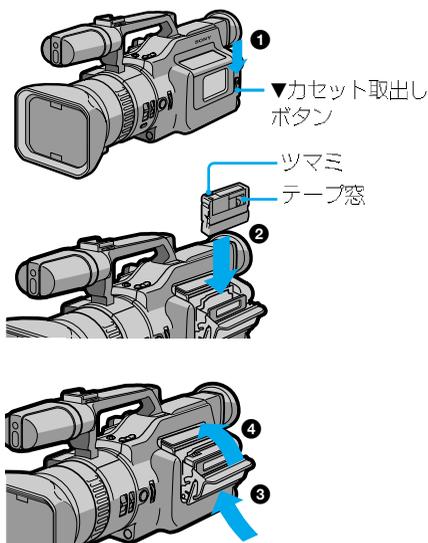


2

カセットを入れる。

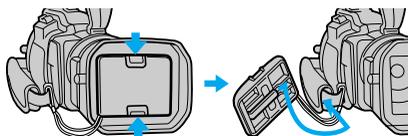
詳しくは8ページをご覧ください。

- 1 青の▼カセット取出しボタンを押しながら下にずらす。
カセット入れが自動的に開く。
- 2 カセットを入れる。
テープ窓を外側に、ツマミを上にする。
- 3 カセットぶたの外側を押し、カセット入れを閉める。
カセット入れが自動的に下がる。
- 4 カセットぶた上部を閉める。



3

フードキャップをははずす。



4

撮影する。

詳しくは10ページをご覧ください。

1 まん中のボタンを押しながら「カメラ」にする。



2 スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。



ビッ♪

ファイндターに画像が映る。

3 赤いボタンを押すと、撮影が始まる。

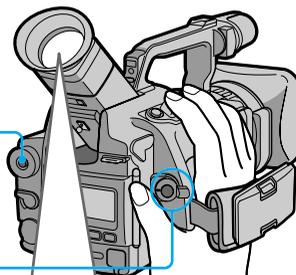


ビッ♪

4 もう1度赤いボタンを押すと、撮影が止まる。



ビビッ♪



ファイндター

この部分に目をあてて画像を見ます。



ファイндター内の文字がぼやけてしまうときは視度調節します。(9ページ)

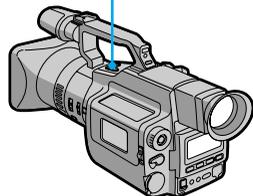
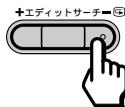
5

撮影できたか、ちょっと確認する。

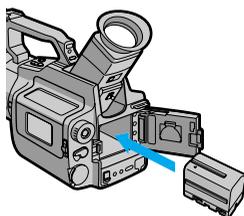
詳しくは14ページをご覧ください。

エディットサーチ④ボタンをポンと1回押す。

最後に撮影した場面が数秒間ファイндターに映り、もとの位置に戻る。



屋外などで撮影するとき充電したバッテリー(充電池)を使います。(6、7ページ)



- バッテリー(充電池)を充電する → 6ページ
- 撮影内容を確認する → 14ページ
- テレビで見る → 16ページ

本書で使われているマークについて

- ④：正しくお使いいただくための注意です。
- ：知っているると便利な操作や解説です。

必ずお読みください

別売りのアクセサリキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリキットの取扱説明書をご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、デジタルビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生ができなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

ファインダー内の映像を説明するために、スチルカメラによる写真を使っています。そのため、実際に見えるものとは異なります。

目次

■はじめに

とにかく撮って見る	2
-----------------	---

■準備

バッテリーを充電する	6
バッテリーを本体に入れる	7
カセットを入れる	8
ファインダーを調節する	9

■撮る

撮影する	10
撮影内容を確認する	14

■見る

テレビにつなぐ	15
テレビで見る	16

■使いこなす

メニューで設定を変える	18
バッテリー以外の電源で使う	23

撮影

フェーダー・オーバーラップする	24
撮り直す	
撮影の途中から撮り直す	
－ エディットサーチ 1	26
ある部分だけ撮り直す	
－ エディットサーチ 2	27
横長の画面で撮る　－ワイドTVモード	28
静止画を撮る　－フォトモード撮影	29
インターバル録画	30
コマ撮り	32
セルフタイマー録画	33

撮影時の画質の調節

自動調節と手動調節	34
手動でピントを合わせる	36

目的に合わせて撮る　－プログラムAE ..	38
アイリス(レンズ絞り)を優先して撮る	
－アイリス優先モード	38
シャッタースピードを優先して撮る	
－シャッタースピード優先モード ..	39
夜の明かりをきれいに撮る	
－夜景モード	41
手動調節で撮る	42
自然な色あいに調節する	
－ホワイトバランス	48
録音レベルを調節する	50
画質設定を記憶させる	
－カスタムプリセット	51

再生

場面を頭出しする	54
撮影日時と撮影情報を画面に出す	
－データコード	57

編集

ダビング編集する	58
記録済みテープに映像と音声を挿入する	
.....	60

■ご注意など

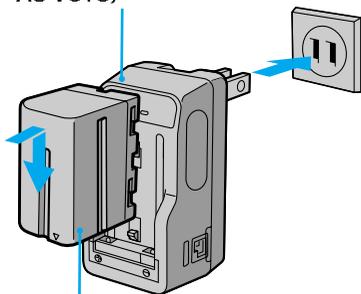
ボタン型リチウム電池を交換する	62
日付・時刻を合わせ直す	63
ビデオカセットについて	65
お手入れについて	67
海外で使うとき	68
主な仕様	69
用語解説	70
保証書とアフターサービス	71
故障かな?と思ったら	72
各部のなまえ	74
警告表示	79
索引	裏表紙

バッテリーを充電する

説明 バッテリーは充電して使います。
アクセサリキット(別売り)のAC
パワーアダプターAC-V615を例
に説明します。

準備 別売りアクセサリキットのACパ
ワーアダプターなどの充電器が必
要です。ACパワーアダプターの取
扱説明書もあわせてご覧ください。

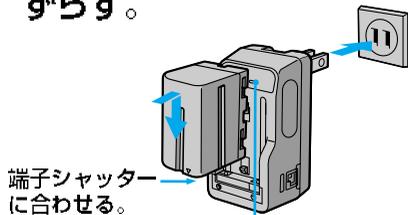
ACパワーアダプター
(別売りアクセサリキットの
AC-V615)



バッテリーパック
NP-F730(別売り)

1 電源コードをコンセントにつなぐ。

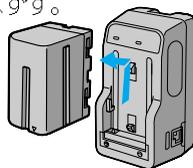
2 押しながら矢印の方向にずらす。



端子シャッター
に合わせる。

充電が始まると、充電ランプ
(オレンジ色)が点灯する。
充電が終わると消える。

充電器から取りはずすとき
矢印の方向にずらして、はずす。



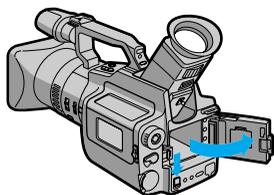
❑ 充電時間は
使い切ったNP-F730をAC-
V615で充電すると、約3時
間10分かかります。

❑ 本体にバッテリーを入れたま
までも充電できます。
詳しくは23ページをご覧くだ
さい。

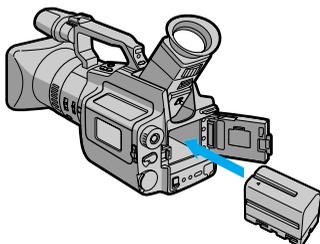
バッテリーを本体に入れる

説明 屋外の撮影などでは、充電したバッテリーを電源に使います。

1 「開く」スイッチを下にずらして、バッテリーカバーを開ける。



2 入れる。



バッテリーの ◀ が奥になるようにしてカチッと音がするまで押し込む。

3 閉める。

本体から取り出すとき
取りはずしツメを左にずらして取り出す。



準備

■ 完全に充電したNP-F730の使用時間は

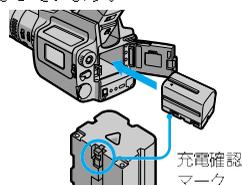
- ・実撮影時間：約50分
録画、スタンバイ、電源の入切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安です。実際にはもっと短くなる場合があります。
- ・連続撮影時間：約1時間45分
常温で連続撮影したときの時間です。

■ バッテリーパックNP-F500/F510/F530/F550/F750は使えません。

■ 本機はInfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリー対応機器ではありません。
インフォリチウムバッテリーを使用しても、分表示は出ません。

■ バッテリーには充電確認マークが付いています。
ACアダプターに取り

付けて充電すると、緑のマークが出ます。本体のバッテリー入れからバッテリーを取り出すと、「無印」の状態になっています。



カセットを入れる

説明 ミニDVカセットのみ使えます。

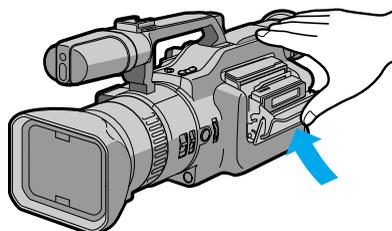
- 1** カセット取出しボタンを押しながら下にずらす。
カセット入れが自動的に上がって開く。



- 2** カセットを入れる。
テープ窓を外側に、ツマミを上側にして入れる。



- 3** カセットぶたの外側を押し、カセット入れを閉める。
カセット入れが自動的に下がる。



- 4** カセットぶた上部を閉める。

取り出すとき

カセットを入れるときと同じように行い、カセット入れが上がったら、カセットを取り出す。

❗ カセット入れを無理に下げたり、カセットを入れているときにカセットぶたに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。

❗ カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

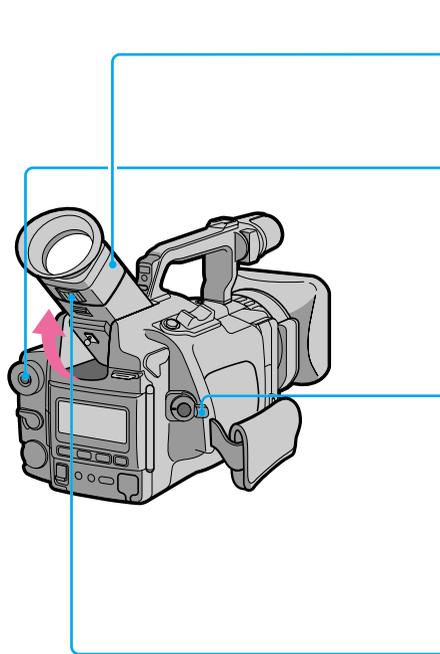
❗ カセットを取り出すときに「カセットメモリー」の表示が出たら
カセットメモリー書き込み中のため、取り出せません(79ページ)。表示が消えてから自動的にカセット入れが上がります。

ファインダーを調節する

説明 自分の視力に合わせて、ファインダー内の画像がはっきり見えるように調節します。(視度調節)

いつ使う? ファインダー内の画像がはっきり見えないときや、初めて撮影するとき、撮影する人が交代したときなど。

準備

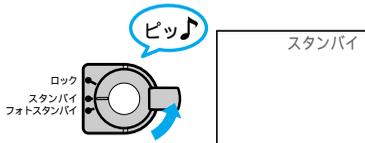


1 持ち上げる。

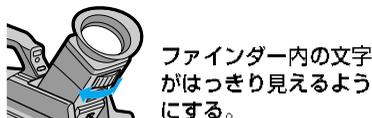
2 「カメラ」にする。



3 「スタンバイ」にする。



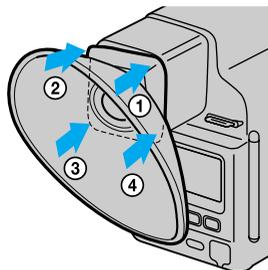
4 動かす。



■ 本機の液晶カラービューファインダーについて
まれに黒い点が現われたり、赤や青、緑の点が映ったまま消えないことがあります。故障ではありません。(有効画素99.99%以上)
また、ファインダーに現れるこれらの点は、テープに記録されません。

■ 眼鏡をかけている方や、画面の四隅が見えない場合はアイカップを折り返してお使いください。

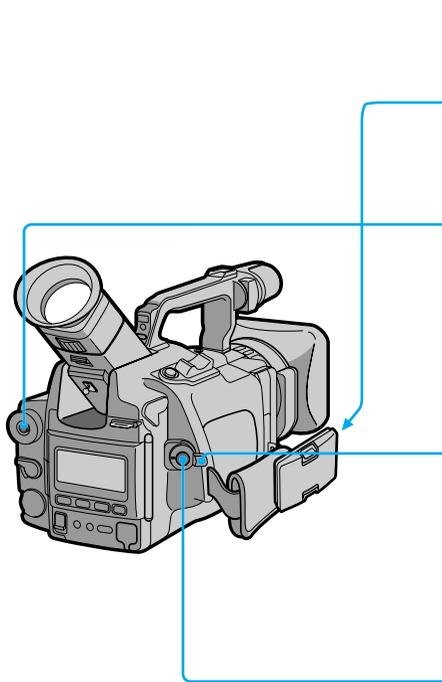
■ 外の光がまぶしくて見にくいとき
付属の大型のアイカップを使うことをおすすめします。アイカップを少しのぼしながら、図のように四隅を順番にはめ込んでください。



撮影する

説明 オートロックスイッチとフォーカススイッチを上にあげてオート(自動)にしておけばピント合わせも自動で、簡単に撮影が楽しめます。

準備 バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れておきます。



- 1** フードキャップをはずし、グリップベルトにとめる。
- 2** 「カメラ」にする。
 まん中のボタンを押しながら
- 3** 「スタンバイ」にする。


撮影スタンバイ
○
スタンバイ
- 4** 押す。


撮影中
●
録画

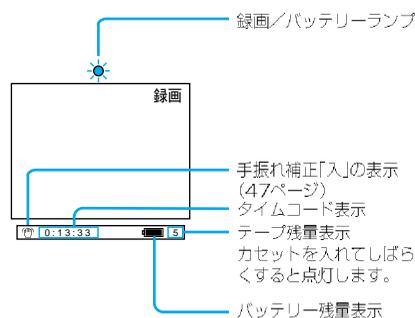
■ 明るい場所での撮影はNDフィルタースイッチを「入」にしてください。(45ページ) 屋外など明るい場所では映像がぼやけることがあります。このようなときはファインダー内にND ONが点滅しますので、本体左側面にあるNDフィルタースイッチを「入」にしてください。

■ きれいなつなぎ撮りのためにカセットを取り出さない限り、電源を切っても、場面がきれいにつながります。ただし、バッテリーを交換するときは、スタンバイスイッチを「ロック」にしてから行ってください。

■ 近くのものにピントがうまく合わない場合、ズームボタンのW側を押して、広角にしてください。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

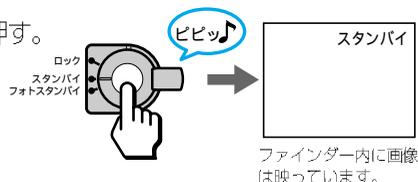
撮影中の表示

これらの表示はテープに記録されません。



撮影を一時止める

押す。



再び撮影するときには、もう1度押す。

撮影を止める

「ロック」にする。



■ テープが入っている状態で撮影スタンバイが5分以上続くと、自動的に電源が切れます。

■ 外部マイク入力端子に外部マイクをつないで音声を録音できます。なお、外部マイクをつないでいるときには、本体のマイクの音は録音できません。カセットを入れずにモニターなどをする場合、モノラルの外部マイクをつなぐと、

音声出力端子およびヘッドホンからは片側からしか音は出ません。

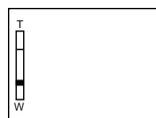
■ タイムコードについて
ファインダー内と表示窓にテープ走行時間が「0:00:00」(時：分：秒)と出ます。テレビなどに出した画面表示では「0:00:00:00」(時：分：秒：フレーム)と出ます。テープの途中に無記録部分があると、タイムコードは0から始まります。

あとからこのタイムコードだけを書き直すことはできません。なお、本機のタイムコードはドロップフレーム方式です。(70ページ)

■ テープ残量表示について
テープの種類によっては正しく表示されないことがあります。また、表示が出ない場合は、再生または録画が始まると数秒で表示が出ます。

ズームする

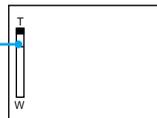
ズームスイッチを押す。



デジタルズームを使用する

10倍ズームを越えるズームはデジタルズームになります。

デジタルズームマーク
これよりT側がデジタルズームになります。10倍ズームを越えると、デジタル処理をするためT側にするほど画質が低下します。



デジタルズームを使用しないとき

撮影スタンバイ中にメニューで「デジタルズーム」を「切」にする。(20ページ)

撮影が終わったら

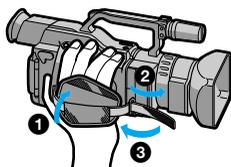
- 1 カセットを取り出す。
- 2 電源スイッチを「切」にする。
- 3 バッテリーを取り出す。

撮影する(つづき)

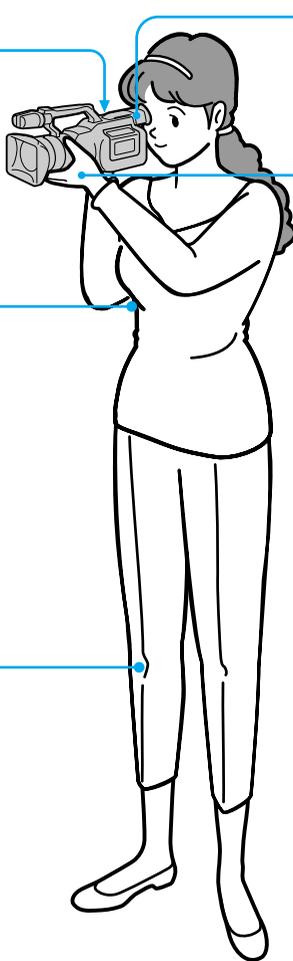
うまく撮る姿勢

説明 見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かさすぎないことと、ふらつかないように安定した姿勢で撮影することです。

グリップベルトをしっかりしめる。



右わきをしめる。



アイカップを目にしっかりあてる。

左手はハンディカムの下にそえて安定させる。

体がふらつかないように、少し足を開く。

低い位置で撮る姿勢 (ローアングル)

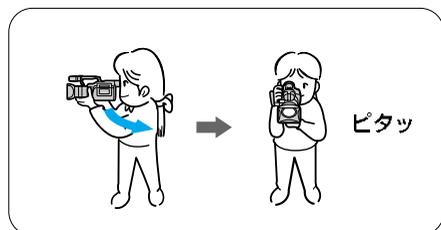
ビューファインダーを持ち上げる。



撮影の基本

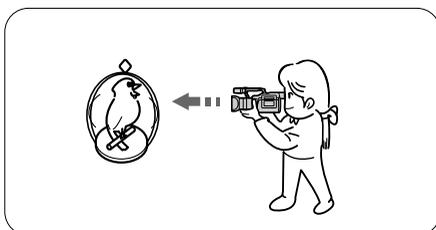
ハンディカムを振り回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき(パンニング)は、つま先を撮り終わりのほうに向けて、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、数秒間固定して撮ります。



ズームは多用せず、広角で撮る。

広角にすると、ブレの少ない画像になります。ピントも合いやすくなります。被写体を大きく撮りたいときは、近づいて撮影すると音もよく入ります。



撮る

安定した見やすい画面にするコツ

- 壁によりかかるなど安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線をファインダーの枠に合わせる。



きれいな画像にするために

太陽を背に、被写体の正面に光が当たるようにして、逆光を避けましょう。暗いところではライトを使いましょう。

- 三脚を使う。(ネジの長さが6.5mm未満のものをお使いください。)

- ④ ビューファインダーをつかんで本機を持ち上げないでください。



- ⑤ ファインダーを太陽に向けたままにしないでください。故障の原因になります。ビューファインダー内部を傷めてしまいます。本機を窓際や屋外に置くときには十分ご注意ください。

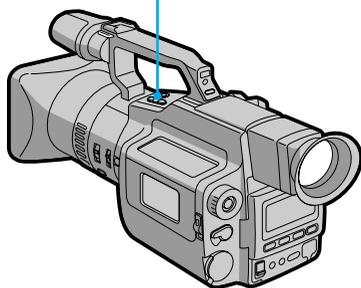
- ⑥ クローズアップレンズ(別売り)を付けたままレンズを太陽に向けしないでください。本機の故障の原因になります。

撮影内容を確認する

説明 撮影した内容をファインダーで確認できます。撮り直しの開始点を決めることもできます。

いつ使う? 最後に撮った場面が気になるとき。もう一度途中から撮り直すときなど。

エディットサーチボタン



正方向または逆方向に再生する

—エディットサーチ
撮影スタンバイ中に押し続ける。
強く押すと速くなります。

正方向 - 逆方向



指を離れたところが、次の撮影開始点になります。
音は出ません。

最後の場面を確認する

—レックレビュー
撮影スタンバイ中にボンと1回押す。



最後に撮影した場面が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。

もとのテープ位置に戻ります。
ヘッドホンをつなげば音も確認できます。

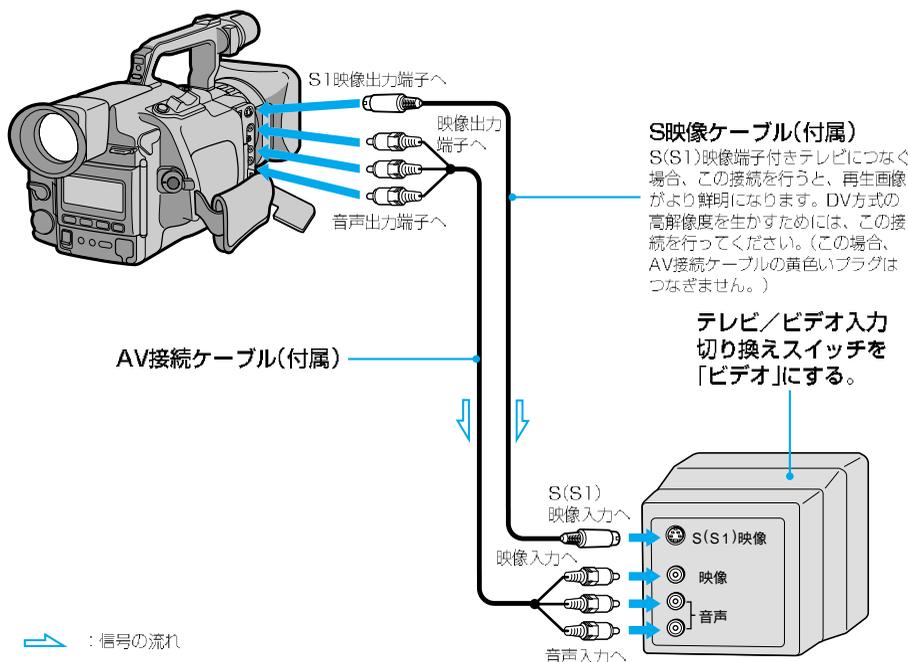
❑ 長い内容を確認したいとき
電源スイッチを「ビデオ」にすると、ファインダーで再生画像を見られます。ヘッドホンをつなぐと音を聞くこともできます。操作は16ページ「テレビで見る」と同じです。

❑ エディットサーチについて
電源スイッチが「ビデオ」のときも、再生一時停止からエディットサーチができます。

テレビにつなぐ

説明 撮影したテープをテレビで見るために、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。

電源は別売りのACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします(23ページ)。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



見る

■ 音声入力端子がひとつ(モノラル)のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぎます。(赤いプラグはつきません。)音声がモノラルです。このとき、本機につないだヘッドホンの音声もモノラルです。

■ 映像/音声入力端子のないテレビにつなぐとき

別売りのRFUアダプターRFU-89KBでつなぎます。テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。音声がモノラルです。

■ すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぎます。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力」にしてください。

■ お持ちのテレビにS1端子がついていて、本機のS1端子とつないでいるとき

本機で撮影したワイド画像を映そうとすると、自動的にワイド画像に切り換わります。

テレビで見る

説明 撮影したテープなどをテレビで見ます。ファインダーにも再生画像が映ります。

準備 本機をテレビにつなぎ、本機からの映像がテレビに映るようにしておきます。

1 「ビデオ」にする。

電源
まん中のボタンを押しながら

テープ走行ボタンが点灯する。

2 カセットを入れる。
(8ページ)

3 押し。
巻き戻しが始まる。

巻き戻し

4 押し。
画像が映る。

再生

❶ 海外で録画されたテープについて
カラーテレビ方式が異なるため、本機で再生できないものがあります。

❷ テレビ画面にタイムコードなどの表示を出すには
リモコンの画面表示ボタンを押すと、ファインダー内に出る文字がテレビ画面に出ます。消すときは、もう1度押します。
電源スイッチを「カメラ」にしたときも同じように出ます。

❸ 一時停止(静止画)について
5分以上続けると、自動的に停止状態になります。再生するときには、もう1度▶再生ボタンを押します。

❹ 見たい場面に戻るには
再生中に後でもう一度見たいところでゼロセットメモリーボタンを押します。再生後巻き戻しボタンを押すと、0:00:00付近で止まります。

いろいろな再生

こんなとき	いつ	操作
止める	再生中	□停止ボタンを押す
静止画を見る	再生中	■一時停止ボタンを押す。 ふつうの再生に戻るときは、もう1度押すか、▷再生ボタンを押す。
巻き戻す	再生中	□停止ボタンを押し、◀◀巻き戻しボタンを押す。
早送りする	再生中	□停止ボタンを押し、▶▶早送りボタンを押す。
画像を見ながら見たい場面を探す — ピクチャーサーチ	再生中	▶▶早送りボタンまたは◀◀巻き戻しボタンを押し続ける。 離すと、ふつうの再生に戻る。
早送り・巻き戻し中に画像を見る — 高速アクセス	早送り中または 巻き戻し中	▶▶早送りボタンまたは◀◀巻き戻しボタンを押し続ける。 離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。 ▷再生ボタンを押すとふつうの再生が始まる。
スロー画を見る — スロー	再生中	>ボタンか<ボタンで方向を決め、▷◁スローボタンを押す。 ▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。
2倍速で見る	再生中	>ボタンか<ボタンで方向を決めてからリモコンの×2ボタンを押す。
コマ送りで見る	再生一時停止中	>ボタンを押す。 逆方向で見るときは<ボタンを押す。
逆方向に再生する	再生中	<ボタンを押す。

■ スロー再生について

1分以上続けると自動的にふつうの再生に戻ります。

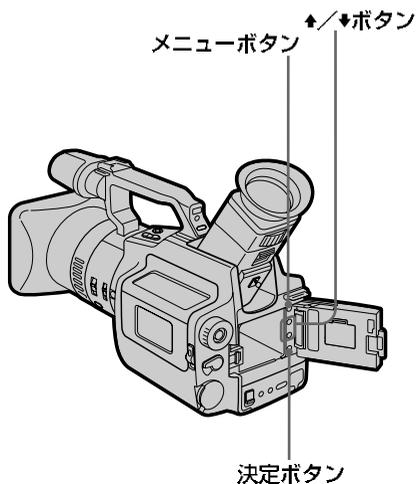
■ ふつうの再生以外のときは

- 音声は聞けません。
- 前の画像がモザイク状に残って再生されることがありますが、故障ではありません。

■ スロー再生または静止画のときは、前の画像が残ることがあります。

メニューで設定を変える

説明 お知らせブザー音を消すなどの設定や確認ができます。電源スイッチが「ビデオ」のときと「カメラ」のときでは、メニュー内容が一部異なります。



いつ使う? 20~22ページのような各種の設定、確認をしたいとき。

1 撮影スタンバイ中または「ビデオ」のとき「開く」スイッチを下にずらし、バッテリーカバーを開ける。

2 メニューボタンを押す。
メニュー画面が出る。

メニュー	スタンバイ
オートリセット	入
デジタルズーム	
ワイドTV	
セブラ	
リモコン	
ヘッドホン	
お知らせブザー	
↓	
メニューで終了	

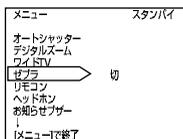
撮影スタンバイ中のとき
（「カメラ」のとき）

メニュー	VTR4
リモコン	
ヘッドホン	
お知らせブザー	
ミックス/ランス	
EVモード	
ワイド表示	
サーチ方式	
↓	
メニューで終了	

「ビデオ」のとき

3

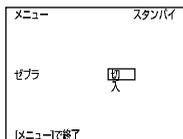
↑または↓ボタンを押して、希望の項目を選ぶ。



押すごとに白枠が上下に動く。

4

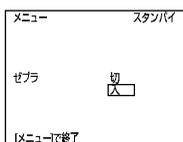
決定ボタンを押す。



希望の項目だけが表示される。

5

↑または↓ボタンを押して、希望の設定に合わせる。



押すごとに設定が切り換わる。

6

決定ボタンを押す。

7

必要なだけ手順3~6を繰り返す。

8

メニューボタンを押す。
メニュー画面が消える。

9

バッテリーカバーを閉める。

使います

■メニューはテレビ画面上でも設定できます。

■メニュー1項目の設定が3段階になっているものもあります。
手順4、5を1回多く繰り返します。

メニューで設定を変える(つづき)

各項目の説明

お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチが「カメラ」のとき

項目	設定	設定内容	いつ使う？
オートシャッター	●入	オートシャッター機能を動かせる。	明るいときに自動的に電子シャッターを動作させたいとき。
	切	オートシャッター機能を動かせない。	明るいときに自動的に電子シャッターを動作させたくないとき。
デジタルズーム	●入	デジタルズームを動かせる。 (最大ズーム倍率は20倍)	通常の最大ズーム(10倍)でも被写体が小さいとき。10倍をこえると画像はすこし荒くなります。
	切	デジタルズームを動かせない。 (最大ズーム倍率は10倍)	デジタルズームが必要ないとき。
ワイドTV	●切	ワイド録画モードにしない。	通常はこの位置へ。
	入	ワイド録画モードにする。	横縦比16:9のワイド(横長)で撮影したいとき。
ゼブラ	●切	ゼブラパターンを表示させない。	通常はこの位置へ。
	入	ゼブラパターンを表示させる。	「白とび」が起こっていないか確かめるとき。
リモコン	●VTR4	VTR4モードにしたリモコンで操作する。	通常はこの位置へ。
	切	リモコンで操作できなくする。	他機のリモコンで、本機が誤動作するとき。
	ID	ID番号を登録したリモコンで操作する。	本機を自分で登録したリモコン以外で操作できなくするとき。
	ID登録	ID番号を登録する。	ID番号を登録するとき。
ヘッドホン	●小	ヘッドホンの音量を小さくする。	—
	中	ヘッドホンの音量をふつうにする。	—
	大	ヘッドホンの音量を大きくする。	—

■ バッテリーカバーの裏側にあるデジタル機能スイッチが「オーバーラップ」のときは「ワイドTV」と「デジタルズーム」は「切」の表示しか出ず、自動的に「切」の設定で撮影されます。

■ リモコンのID登録については、77ページをご覧ください。

■ メニューの設定はリチウム電池が入っていれば電源を外しても保持されますが、コマ撮りとインターバル録画の入/切の設定は、次の場合消えてしまいます。

- 電源を切ったり、外したとき。
- 「ビデオ」に切り換えたとき
- フォトモードに切り換えたとき

項目	設定	設定内容	いつ使う？
お知らせブザー	●入	確認ブザーを鳴らす。	通常はこの位置へ。
	切	確認ブザーを鳴らさない。	ブザー音を消したいとき。
EVFモード	戻る	メインメニューに戻る。	—
	色のこさ	ファインダーの色の濃さを設定する。	ファインダーの色の濃さを変えたいとき。
	明るさ	ファインダーの明るさを設定する。	ファインダーの明るさを変えたいとき。
コマ撮り	●切	コマ撮り機能を動かさない。	コマ撮りをしないとき。
	入	コマ撮り機能を動かせる。	コマ撮りをするとき。
インターバル録画	戻る	メインメニューに戻る。	—
	設定 (●切/入)	インターバル録画機能を動かさない。/動かせる。	通常/インターバル録画をするとき。
	待機時間	インターバル録画の待機時間を設定する。	インターバル録画の待機時間を変えたいとき。
	録画時間	インターバル録画の録画時間を設定する。	インターバル録画の録画時間を変えたいとき。
セルフタイマー	●10秒	セルフタイマーを10秒に設定する。	通常はこの位置へ。
	2秒	セルフタイマーを2秒に設定する。	セルフタイマーの時間が短くてよいとき。
カスタムプリセット	戻る	メインメニューに戻る。	—
	設定 (●切/入)	カスタムプリセット機能を動かさない。/カスタムプリセット機能を動かせる。	通常/カスタムプリセット機能を動かせるとき。
	色のこさ	プリセットする色の濃さを設定する。	録画する画像の色の濃さを変えたいとき。
	シャープネス	プリセットするシャープネスを設定する。	録画する画像をくっきりさせたり、ぼかしたりしたいとき。
	WBシフト	プリセットするWBシフトを設定する。	撮影時の色あいを変えたいとき。
	AEシフト	プリセットするAEシフトを設定する。	AEの設定レベルを変えたいとき。
	ゲインシフト (●0dB/ -3dB)	プリセットするゲインを設定する。	通常/ゲインを-3dBにしたいとき。
	リセット	カスタムプリセット機能の設定を、お買い上げ時の設定に戻す。	すべての設定をいったん元に戻したいとき。
	日時あわせ	年月日、時刻	日付、時刻を設定する。

メニューで設定を変える(つづき)

電源スイッチが「ビデオ」のとき

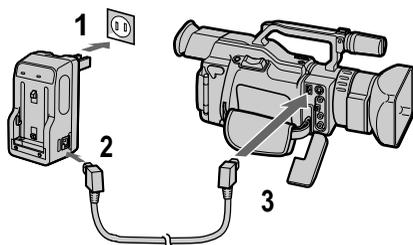
項目	設定	設定内容	いつ使う？
リモコン	●VTR4	VTR4モードにしたリモコンで操作する。	通常はこの位置へ。
	切	リモコンで操作できなくする。	他機のリモコンで、本機が誤動作するとき。
	ID	ID番号を登録したリモコンで操作する。	本機を自分で登録したリモコン以外で操作できなくするとき。
	ID登録	ID番号を登録する。	ID番号を登録するとき。
ヘッドホン	●小	ヘッドホンの音量を小さくする。	—
	中	ヘッドホンの音量をふつうにする。	—
	大	ヘッドホンの音量を大きくする。	—
お知らせブザー	●入	確認ブザーを鳴らす。	通常はこの位置へ。
	切	確認ブザーを鳴らさない。	ブザー音を消したいとき。
ミックスバランス	ST1 \longleftrightarrow ST2	音声モードST1 \longleftrightarrow ST2間のバランスを調整する。	ステレオ1とステレオ2のどちらかを大きくしたいとき。 →(70ページ)
EVFモード	戻る	メインメニューに戻る。	—
	色のこさ	ファインダーの色の濃さを設定する。	ファインダーの色の濃さを変えたいとき。
	明るさ	ファインダーの明るさを設定する。	ファインダーの明るさを変えたいとき。
ワイド再生	●切	16:9のワイドで再生しない。	通常はこの位置へ。
	入	16:9のワイドで撮影した画像をシネマモードで再生する。	ワイドで撮影した画像を通常の4:3のテレビにて16:9のシネマモードの映像として見たいとき。
サーチ方式	●カセットメモリー	カセットメモリーサーチ機能を働かせる。	撮影時の情報を一覧しながら頭出ししたいとき。(カセットメモリー付きのカセットをお使いのときのみできます。)
	切	カセットメモリーサーチ機能を働かせない。	カセットメモリーを使わずに頭出しをしたいとき。
日時あわせ	年月日、時刻	日付、時刻を設定する。	日付、時刻を設定しなめずとき。

バッテリー以外の電源で使う

説明 バッテリーの他に家庭用のコンセントや自動車からの電源を使うこともできます。

いつ使う? テープを再生するときや長時間本機を使用するときなどは、コンセントをつないで使うと、バッテリー切れの心配がなく便利です。

ACパワーアダプター
(別売りアクセサリキットのAC-V615)



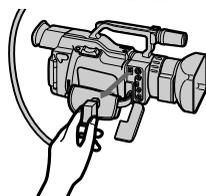
接続コードDK-715
(アクセサリキットに付属)

コンセントにつないで使う

屋内の電源コンセントから電源をとります。別売りのアクセサリキットに入っているACパワーアダプターAC-V615を例に説明します。

- 1 ACアダプターをコンセントにつなぐ。
- 2 接続コードをACアダプターにつなぐ。
- 3 接続コードを本機につなぐ。

取りはずすとき



接続コードのプラグを持って引き抜いてください。

④ 充電終了後に充電ランプが点滅することがありますが、故障ではありません。

■ 自動車の電源で使うとき
別売りのDCパックDC-V515/V700などを使って、自動車のシガレットライターソケットから電源をとります。接続コードはDK-715をお使いください。

■ 上記の接続をして、本体の電源スイッチを「切」にすると、次の充電ができます。

• 本体内充電
本体に入っているバッテリーを充電します。充電中は表示窓にとくり返し表示が出ます。充電終了後、表示は消えます。NP-F730は約3時間10分で充電できます。

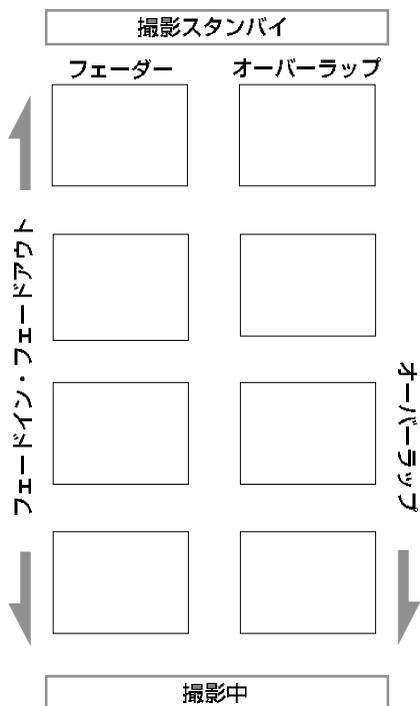
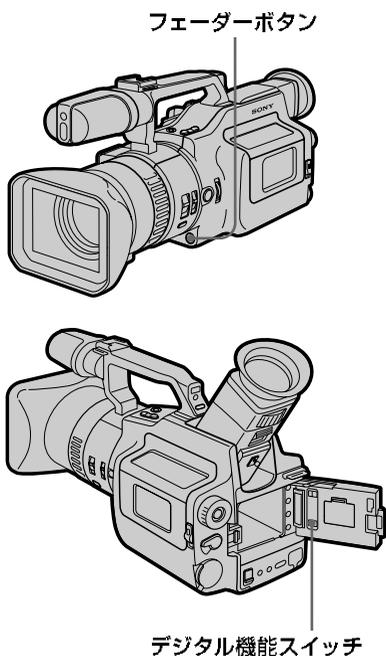
• 2個同時充電
ACアダプター、本体のそれぞれにバッテリーを取り付けると、2個同時に充電します。約4時間で充電できます。ACアダプターの充電ランプと表示窓の表示が消えたら充電の完了です。どちらかが点灯している場合は、充電が完了していません。

使いしなす

フェーダー・オーバーラップする

説明 白画面から、徐々に画像と音を出したり(フェードイン)、消したり(フェードアウト)できます。オーバーラップは最後に撮影した画面(静止画)に次に撮影する画面がフェードインします。

いつ使う? 大きな場面転換のきっかけにしたり、演出効果を出したいときなど。



物語の始めと終わり、あるいは1日の終わりと次の朝といった大きな場面の転換を図るときに使用すると効果的です。また、フェードアウトには余韻を残して終わる効果もあります。ただし、フェードを多用すると、現在の被写体の状況などがわかりづらくなり、見づらくなります。

❑ フェードイン・フェードアウトとオーバーラップは、行われるたびに自動的に解除されます。

❑ フェードする前に解除するときには
フェーダーボタンを押して、ファインダー内のフェーダー表示を消します。

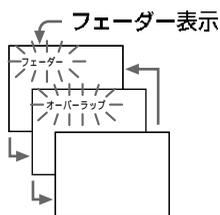
❑ 次のようなときはフェードイン・フェードアウト、オーバーラップはできません。

- ・インターバル録画中
- ・コマ撮り中
- ・フォトモード中

フェードイン・フェードアウトする

1

- フェードインは撮影スタンバイ中に、
- フェードアウトは撮影中に、フェーダーボタンを押して「フェーダー」表示を出す。



フェーダーボタンを押すたびに、「フェーダー」→「オーバーラップ」→無表示の順に換わります。(デジタル機能スイッチが「ズーム/ワイドTV」のときは、オーバーラップは出ません。)

2

スタート/ストップボタンを押す。

フェーダー表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。

オーバーラップを使う

準備

「開く」スイッチを下にずらしてバッテリーカバーを開け、デジタル機能スイッチを「オーバーラップ」に合わせる。

1

撮影スタンバイ中にフェーダーボタンを押して、「オーバーラップ」を出す。

最後に撮影した画面が、現在写している画面にうすく重なります。

2

スタート/ストップボタンを押して、撮影を再開する。

記憶していた画面をフェードアウトしながら、撮影中の画面をフェードインします。

使いこなす

- 撮影中以外の状態から撮影スタンバイにして「オーバーラップ」を出す

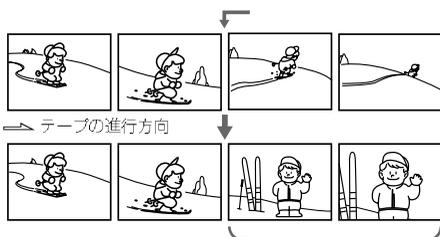
本機が自動的にレックレビューを行い、テープ上の画像を記憶します。

撮り直す

撮影の途中から撮り直す (エディットサーチ-1)

説明 ファインダー上で、撮影した画像を正方向または逆方向に再生して希望のところを見つけ、そこから撮り直すことができます。

いつ使う? 撮影中に、撮ったばかりの場면을ちょっと撮り直したいとき。



撮り直した部分(前の映像・音声は消えます)

スタート/ストップボタン
エディットサーチボタン



1 撮影中に
スタート/ストップボ
タンを押す。

撮影スタンバイになる。

2 エディットサーチボタ
ンを押し続けて、撮り直
したいところで離す。

再び撮影スタンバイになる。

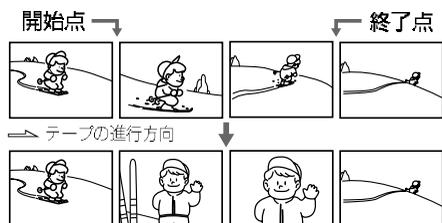
3 被写体に本機を向けて
から、スタート/ス
トップボタンを押す。

撮影が始まる。

ある部分だけ撮り直す (エディットサーチ-2)

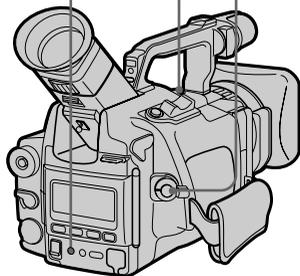
説明 ファインダーを見ながら、撮り直したい部分の始め(開始点)と終わり(終了点)を決めて、その部分だけ新しく撮り直します。

いつも使う? 撮影した画像の一部分だけをあとで撮り直すとき。



撮り直した部分(前の映像・音声は消えます)

スタート/ストップボタン
エディットサーチボタン
ゼロセットメモリーボタン



1

撮影中にスタート/ストップボタンを押す。

撮影スタンバイになる。

2

エディットサーチボタンを押し続けて、撮り直す部分の終了点で離す。

再び撮影スタンバイになる。

3

ゼロセットメモリーボタンを押す。

タイムコードが「0:00:00」になる。

「ゼロセットメモリー」が点滅し、撮り直す部分の終わりの位置が記憶される。

4

エディットサーチボタン(-)を押し続けて、撮り直す部分の開始点で離す。

再び撮影スタンバイになる。

5

被写体に本機を向けてから、スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まり、撮り直す部分に新しく録画される。

タイムコードが「0:00:00」の付近で、再び撮影スタンバイになり、ゼロセットメモリーは自動的に解除されます。

❑ 1度記憶させた終了点の位置を変えるときは
ゼロセットメモリーボタンをもう1度押して、「ゼロセットメモリー」表示を消してから、手順2~4を繰り返します。

❑ 新しく撮り直した部分を再生すると
終了点の画像が乱れることがあります。故障ではありません。

❑ テープの途中に記録されていない部分があると
ゼロセットメモリー機能が正しく動かない場合があります。

横長の画面で撮る -ワイドTVモード

説明 横長(ワイド)テレビで、画面いっぱいに映るように記録できます。



ファインダー

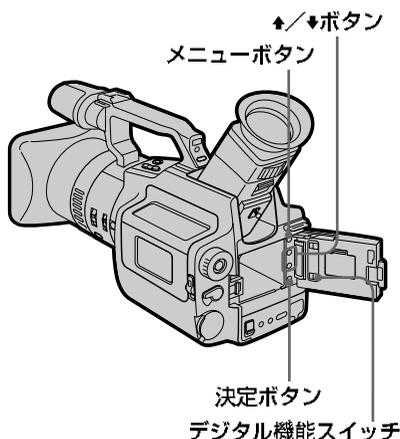


通常のテレビ(4:3)で見ると



横長(ワイド)テレビ(16:9)で見ると(フルモード時)

撮影時に画像が縦長に圧縮されます。ハイビジョンテレビやワイドテレビなどの横縦比が16:9の横長テレビをフルモードにすると、画面いっぱいに画像が映ります。



1 撮影スタンバイ中にデジタル機能スイッチを「ズーム/ワイドTV」に合わせる。

2 メニューボタンを押す。メニュー画面が出る。

3 「ワイドTV」を「入」にする。

- ① ↑または↓ボタンを押して「ワイドTV」を選び、決定ボタンを押す。
- ② ↓ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。



4 メニューボタンを押す。メニュー画面が消える。設定が完了し、ワイド画面で記録できます。

- ワイドTVモードを解除するときメニューで「ワイドTV」を「切」にします。
- 「ワイドTV」を「入」にして記録したテープを横長テレビで見るときはテレビの画面モードをフルモード(横縦比16:9)に切り換え、本機の「ワイド再生」が「切」になっていることを確認してください。

通常の4:3のテレビで見るときは、本機の「ビデオ」時のメニューの「ワイド再生」を「入」にしてください。上下に黒い帯の出るシネマモードで見られます。「入」にしないと、縦長に圧縮された画像になります。

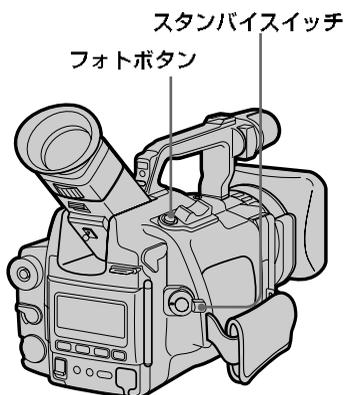
- 画面表示は横長テレビで見ると、横長の文字になります。

- ビデオIDシステム(ID-1)方式対応のテレビにつなぐと「ワイドTV」を「入」にして記録した画像が再生されると、自動的にフルモード(横縦比16:9)に切り換わります。テレビのS1端子につないだときも、自動的に切り換わります。

静止画を撮る — フォトモード撮影

説明 通常のスチルカメラで撮影するように、静止画を録画できます。明るさに応じてシャッタースピードを自動で1/1000秒まで調節します。

いつ使う? 後からテレビやモニターで記念写真のように見たいときや、ビデオプリンターでプリントしたいときなど。



1 スタンバイスイッチを「フォトスタンバイ」にする。

ファインダーに「フォト」が出る。

2 フォトボタンを軽く押し、画像を確認する。

静止画と「メモリー」がファインダーに出る。

フォトボタンは軽く押したままにしておきます。

画像を選びなおすときは、フォトボタンを離してから選び、もう一度軽く押す。

3 フォトボタンを押しこむ。

ファインダーに出ている画像が約7秒間記録されます。記録中に電源スイッチやスタンバイスイッチを切り換えると、記録が終わったあとに切り換わります。

音声も入ります。

撮影スタンバイに戻す

スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。

■ セルフタイマーを動かしているときは

手順2のように画像を選べません。フォトボタンを押すとタイマーがスタートして、セルフタイマーがオンになったときの画像が静止画録画されます。

■ リモコンのフォトボタンを押すと、押したときに映っている画像が記録されます。軽く押して画像を選ぶことはできません。

■ 本機で撮った静止画をビデオプリンターCVP-M1でプリントするときは

• 本機のリモコンを使うと便利です。本機と、CVP-M1のLANC端子と映像端子をつないでからリモコンのプリントボタンを押すと、CVP-M1で自動的に画像を取り込みプリントします。CVP-M1の取扱説明書もあわせてご覧ください。

• プリントには撮影時の日付が自動的に入ります。

ただし、本機の電源スイッチが「カメラ」のスタンバイのときにプリントしようとする、プリントに現在の日付が入らないことがあります。

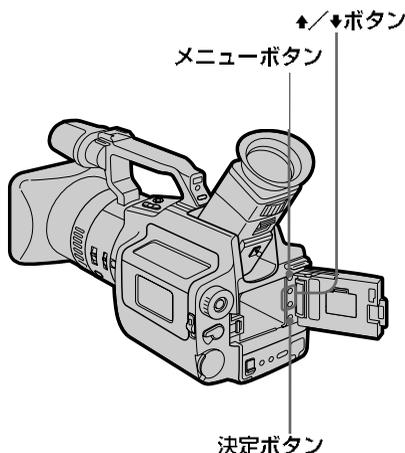
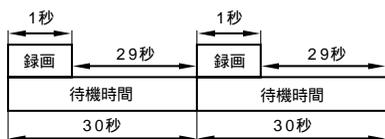
• 静止画以外の映像でも、本機で一時停止にしてプリントできます。

インターバル録画

説明 被写体を一定時間ごとに録画できます。あらかじめ設定した時間ごとに、録画と録画停止を交互に行います。

いつ使う? 花の開花や、昆虫の羽化などの場面を時間を置いて撮影するとき。

(例)
「待機時間」30秒、「録画時間」1秒を選んだ場合(30秒ごとに、約1秒録画されます。)



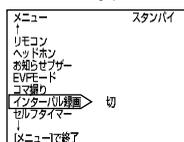
1 撮影スタンバイ中に「開く」スイッチを下にずらし、バッテリーカバーを開ける。

2 メニューボタンを押す。

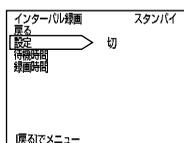
メニュー画面が出る。

3 「インターバル録画」を「入」にする。

① ▲または▼ボタンを押して「インターバル録画」を選び、決定ボタンを押す。



② ▼ボタンを押して「設定」を選び、決定ボタンを押す。

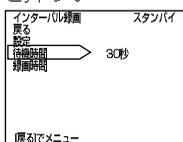


■ フォトモードではインターバル録画はできません。

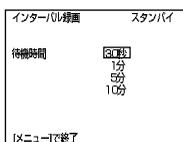
4

「待機時間」を設定する。

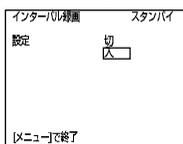
- ① ▲または▼ボタンを押して「待機時間」を選び、決定ボタンを押す。



- ② ▲または▼ボタンを押して希望の時間を選び、決定ボタンを押す。



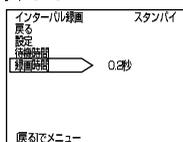
- ③ ▼ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。



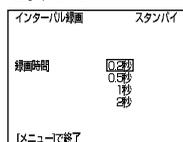
5

「録画時間」を設定する。

- ① ▲または▼ボタンを押して「録画時間」を選び、決定ボタンを押す。



- ② ▲または▼ボタンを押して希望の時間を選び、決定ボタンを押す。



6

メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

7

スタート/ストップボタンを押す。

インターバル録画が始まる。

途中で止めるとき

スタート/ストップボタンを押す。

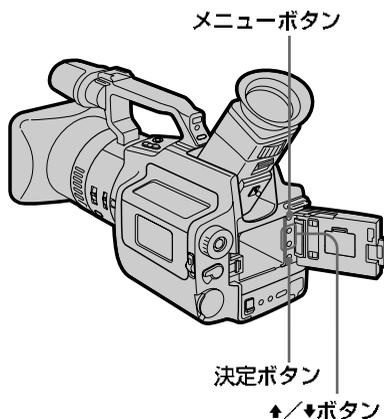
■ インターバル録画を解除するには

次のいずれかの操作を行います。

- メニュー画面で「インターバル録画」を「切」にする。
- スタンバイスイッチを「ロック」にする。
- 電源スイッチを「切」が「ビデオ」にする。

コマ撮り

説明 人形やおもちゃなどを少しずつ動かしながらコマ撮りすると、アニメーションのような効果が出せます。コマ撮りするときは、カメラを固定してリモコンで操作することをおすすめします。

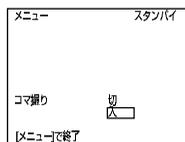


1 撮影スタンバイ中に「開く」スイッチを下にすらし、バッテリーカバーを開ける。

2 メニューボタンを押す。
メニュー画面が出る。

3 「コマ撮り」を「入」にする。

- ① ↑または↓ボタンを押して「コマ撮り」を選び、決定ボタンを押す。
- ② ↓ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。



4 メニューボタンを押す。
メニュー画面が消える。

5 本体またはリモコンのスタート/ストップボタンを押す。
1コマ(約6フレーム)の撮影が行われカメラは撮影スタンバイになる。

6 被写体を動かして、手順5の操作を繰り返す。

❑ コマ撮り録画を解除するには次のいずれかの操作を行います。

- ・メニュー画面で「コマ撮り」を「切」にする。
- ・スタンバイスイッチを「ロック」にする。
- ・電源スイッチを「切」か「ビデオ」にする。

❑ コマ撮りをするとき
コマ撮りの最終カットは、通常より1コマ長くなります。

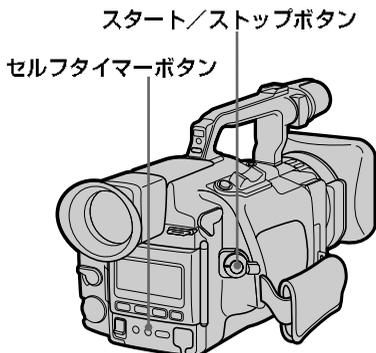
❑ コマ撮りを連続で行うと、テープ残量表示は正しく表示されません。

❑ フォトモードではコマ撮りはできません。

セルフタイマー録画

説明 セルフタイマーを「入」にすると、設定した時間後(2秒または10秒)に、自動的に撮影を始めます。

いつ使う? 自分を撮影したいときなど。



1 撮影スタンバイ中にセルフタイマーボタンを押す。



2 スタート/ストップボタンを押す。

セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、設定した時間後に、自動的に撮影が始まる。

秒読み中に撮影を止めるとき
スタート/ストップボタンをもう一度押す。リモコンを使うと便利です。

セルフタイマーを止めるとき
撮影スタンバイ中にもう一度セルフタイマーボタンを押して、「⊙」を消す。

■ 次の場合、セルフタイマーは自動的に「切」になり、解除されます。

- セルフタイマー録画を実行したあと。
- スタンバイスイッチを「ロック」にしたとき。
- 電源を「切」か「ビデオ」にしたとき。

■ セルフタイマーの時間を変えるには
メニューで行います。2秒または10秒を選べます。

■ フォトモードにしてフォトボタンを押すと、セルフタイマーで静止画撮り(フォトモード撮影)ができます。
(29ページ)

■ フォトボタンを軽く押しているときは
セルフタイマーボタンを押しても、セルフタイマーが働きません。
1度フォトボタンを離してから行ってください。

自動調節と手動調節

- 説明** フォーカス(ピント)、ホワイトバランス(色あい)、明るさ、シャッタースピード、録音レベルを自動または手で調節できます。
- 自動調節で手軽に撮影したい・・・自動調節
 - 撮影状況や、被写体に合わせて撮影したい・・・手動調節
 - 特定の状況を、設定されている最適な調節で撮影したい・・・プログラムAE

いつ使う? 通常は自動調節にします。撮影の状況や被写体に合わせて、手動調節、プログラムAEに切り換えます。

手動調節やプログラムAE調節した設定を保持する

オートロックスイッチを一番下に、**「ホールド」**にする。
明るさ、シャッタースピード、ホワイトバランス、プログラムAE、録音レベルの各ボタンとコントロールダイヤル、明るさダイヤルが動かなくなります。

自動調節	オートロック 	
プログラムAE	オートロック解除(まん中の位置) 	アイリス優先モード (プログラムAEボタンを [AE] A表示が出るまで押す。)
		シャッタースピード優先モード (プログラムAEボタンを [AE] S表示が出るまで押す。)
		夜景モード (プログラムAEボタンを ☾ 表示が出るまで押す。)
手動調節		表示なし (プログラムAEボタン、明るさボタン、シャッターボタンを表示が出なくなるまで押す。) マニュアル (プログラムAEボタンを表示が出なくなるまで押す。)

■ 手動調節やプログラムAE調節での設定値は

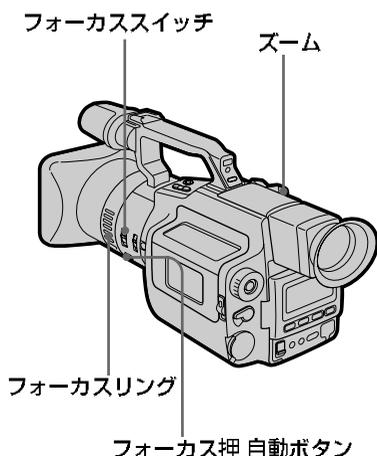
バッテリー交換時などに電源をはずしても、リチウム電池が入っていれば約5分間は設定が保持されます。

明るさ	シャッタースピード	ホワイトバランス	フォーカス	録音レベル
自動的に調節される。	1/60に固定される。オートシャッターが動いているときは1/250まで自動調節になる。	自動的に調節される。	オートロックスイッチの位置は無関係。フォーカススイッチの位置によって、以下のようになる。 •「自動」にすると、自動的に調整される。 •「手動」にすると、手動で調節できる。 フォーカス押 自動 ボタンを押すと、押している間だけ自動で調節される。 •「無限」にすると、フォーカス位置が無制限になる。	自動的に調節される。
コントロールダイヤルでアイリス値を切り換える。(明るさボタンと明るさダイヤルで明るさを変えられる。)	自動的に調節される。(シャッタースピードボタンは動かない。)	ホワイトバランスボタンを押すごとに表示が変わる。表示なし(自動)→☀(手動)→* (屋外)→🌳(屋内)→(始めに戻る)		録音レベルボタンを押した後にコントロールダイヤルを回すと、録音レベルを手動で調節できる。
自動的に調節される。(明るさボタンと明るさダイヤルで明るさを変えられる。)	コントロールダイヤルでシャッタースピードを切り換える。(シャッタースピードボタンは動かない。)	ホワイトバランスボタンを押して、ファインダー内に☀が点滅している間に、☀ボタンを押すと、手動でホワイトバランスを調節できる。(48ページ)		
自動的に調節される。(明るさボタンと明るさダイヤルで明るさを変えられる。)	自動的に調節される。(シャッタースピードボタンは動かない。)			
自動的に調節される。	1/60に固定される。オートシャッターが動いているときは1/250まで自動調節になる。			
明るさボタンと明るさダイヤルで明るさを変えられる。	シャッタースピードボタンとコントロールダイヤルでシャッタースピードを切り換えられる。			

手動でピントを合わせる

説明 撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。また、「オートロック」にして、自動調節で撮影しているときも、ピント合わせだけ手動にすることができます。

いつ使う? 十分な明るさや適度な明暗の差がないときなどの、ピントが自動では合いにくいとき、または意図的にピントの合う位置を変えたいときなど。



1 撮影中または撮影スタンバイ中に、フォーカススイッチを「手動」にする。

ファインダーに Ⓢ (フォーカス手動表示)が出る。

2 ズームをT側(望遠側)いっぱいにする。

3 フォーカスリングを回し、ピントを合わせる。

フォーカスリングを回している間は ▷○◁ (手動ピント合わせ表示)が出る。ピントが合うとファインダーに ▷●◁ が出る。

4 ズームを動かし、撮りたい大きさにする。

❑ 暗い室内で撮る場合

ピントの合う範囲が非常に狭くなるため、手動ピント合わせをした後、なるべくW側(広角側)で撮りましょう。

❑ 明るい野外での動きの激しいものを撮る場合

W側(広角側)いっぱい撮ります。

❑ 近づいて大きく撮る(マクロ)ときは

ズームをW側(広角側)いっぱいにする。

❑ 自動ピント合わせのしくみ

自動ピント合わせは、横方向に走査する映像信号からピントを検出します。そのため、被写体が横じまだけのものや背景とのコントラストの低いものは、自動でピントが合いにくいことがあります。

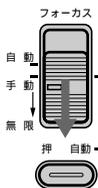
手動調節中の表示

ピントの合いかたによって、手動ピント合わせ表示がファインダーに出ます。

- ▷◁ フォーカスリングを左に回すと、フォーカスが合います。(ピントが近い状態)
- ▷●◁ フォーカスが合っています。
- ▶◁ フォーカスリングを右に回すと、フォーカスが合います。(ピントが遠い状態)

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカススイッチを「無限」に合わせると、ピントは無限遠になる。指を離すとピント合わせが手動に戻ります。



一時的にオートフォーカスで撮影する

フォーカス押 自動ボタンを押す。押ししている間、オートフォーカスが働く。



手動ピント合わせで、ある被写体から別の被写体へピントを移すようなときに使うと、自然にピントが合うようなめらかな画像になります。指を離すと手動ピント合わせに戻ります。

自動調節に戻す

フォーカススイッチを「自動」にする。
☑(フォーカス手動表示)が消える。

遠くの被写体を撮りたいのに、近く of 被写体にピントが合ってしまうときに使います。

- 手動ピント合わせ表示は、スローシャッターを使っているときは出ません。
- 1.5秒間フォーカスリングを動かさないと、手動ピント合わせ表示は消えます。
- 手動でピント合わせをするとき、次のようなマークが出る場合があります。
 - ▲ 無限遠にあるとき点灯します。
 - それ以上近くにピント合わせをすることができなときに点灯します。

目的に合わせて撮る - プログラムAE

説明 被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

アイリス(レンズ絞り)を優先して撮る - アイリス優先モード

説明 アイリス(レンズ絞り)をF1.6からF11まで設定して撮影できます。ゲインとシャッタースピードは、設定されたアイリス値に合わせて、最適値に自動調節されます。

いつ使う? 被写界深度を設定して撮影するとき。



■ズームをT側(望遠)にしているときは
F1.6は選べません。

■被写界深度について
被写体にピントを合わせると、その被写体の前後の像にぼけを生じますが、実用上ピントが合っているとみなせる範囲があります。このピントが合っているように見える範囲のことを被写界深度といいます。

この範囲が広いときは「被写界深度が深い」、また範囲が狭いときには「被写界深度が浅い」といいます。
被写界深度はアイリス(レンズ絞り)や焦点距離(ズーム)によって右の表のように変化します。

1 オートロックスイッチをまん中にする。

2 ファインダーに「[AE]A」が出るまで、プログラムAEボタンを押す。

3 コントロールダイヤルを回して、好みのアイリス(レンズ絞り)の値を選ぶ。

ダイヤルを回すとF値がF1.6からF11の範囲で変わる。数値が小さくなるほどアイリスは開き、大きくなるほど絞られる。
アイリス(レンズ絞り)の変化に応じて、ゲインとシャッタースピードも変化する。

自動調節に戻す

オートロックスイッチを上げて、「オートロック」にする。

または「[AE]A」が「[AE]S」、「」が消えるまでプログラムAEボタンを押す。

シャッタースピードを優先して撮る - シャッタースピード優先モード

説明 シャッタースピードを $1/60$ から $1/10000$ まで設定して撮影できます。ゲインとアイリス値は、設定されたシャッタースピードに合わせて最適値に自動調節されます。

いつ使う? ゴルフのスイングやテニスボールなど、動きの早いものを撮影するとき。また、動きの早い場面をスロー再生や静止画像で見たいとき。



1 オートロックスイッチをまん中にする。

2 ファインダーに「[AE]S」が出るまで、プログラムAEボタンを押す。

3 コントロールダイヤルを回して、好みのシャッタースピードを選ぶ。

ダイヤルを回すとシャッタースピードが $1/60$ から $1/10000$ の範囲で変わる。数値が小さくなる(ファインダーの表示が大きくなる)ほど速いシャッタースピードになる。シャッタースピードの変化に応じて、ゲインとアイリス(レンズ絞り)は自動的に変化する。

自動調節に戻す

オートロックスイッチを上げて、「オートロック」にする。

または「[AE]A」か「[AE]S」、 \blacksquare が消えるまでプログラムAEボタンを押す。

アイリス(レンズ絞り)	開放側(F値小)	絞り側(F値大)
被写界深度	浅い	深い

ズーム(焦点距離)	望遠(T)	広角(W)
被写界深度	浅い	深い

目的に合わせて撮る – プログラムAE(つづき)

適切なシャッタースピードの例

シャッタースピードは、撮影条件や明るさに応じて切り換えます。下の表を参考にし、シャッタースピードを調節してください。シャッタースピードを速くすると画像が暗くなる場合がありますので、ファインダーで明るさを確認してください。

撮影条件例	おすすめするシャッタースピード
• 晴天下で、テニスやゴルフ、スキーをしている人物を撮るとき	$1/500 \sim 1/1000$ (瞬間をはっきり撮るときは、 $1/1000 \sim 1/10000$)
• 自動車や電車から外の風景を撮るとき	$1/125 \sim 1/500$
• 薄曇りにジェットコースターなどを撮るとき	$1/100$
• 運動会、マラソンなどを撮るとき	
• 屋内でスポーツをしている人物を撮るとき	
• 雪山や真夏の晴れた海岸で、ND2フィルターの代わりにするとき(光量は半減します)	
• 蛍光灯の下でちらつきのない画像を撮るとき(関東地方など50Hzの地域)	
• 晴天下での撮影(小絞りほけ)	$1/90 \sim$

■ **ファインダーに出るシャッタースピード表示について**
例えば、シャッタースピード表示が100のとき、シャッタースピードは $1/100$ です。

■ **高輝度の被写体を撮影すると**
シャッタースピードが速い場合、縦に薄く尾を引いたような画像になることがあります(スミア現象)。

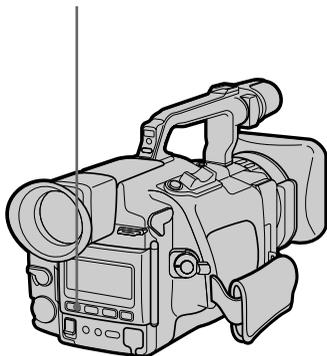
夜の明かりをきれいに撮る—夜景モード

説明 夜景や花火、ネオンサインなど暗い場所で明るい被写体を撮るときに、色とびを抑えます。

いつ使う? ある程度暗い場所での撮影に効果があります。



プログラムAEボタン



1 オートロックスイッチをまん中にする。

2 ファインダーに「**⌂**」が出るまで、プログラムAEボタンを押す。

自動調節に戻す

オートロックスイッチを上げて、「オートロック」にする。

または「**[AE]A**」か「**[AE]S**」、「**⌂**」が消えるまでプログラムAEボタンを押す。

使います

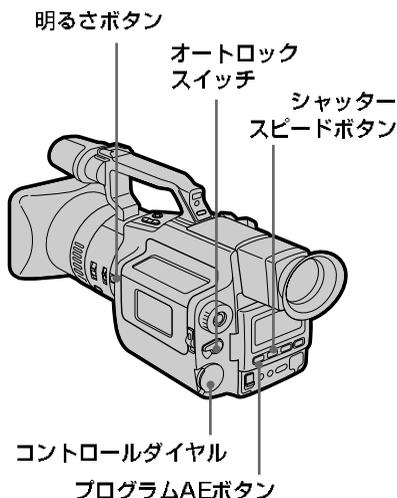
■ 夜景モードの設定

本機ではシャッタースピードを $1/60$ に固定し、さらにノイズの浮き上がりを抑さえるためにゲインを調節しています。

手動調節で撮る

説明 明るさとシャッタースピードをそれぞれ独立して設定できます。

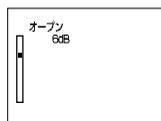
いつ使う? 被写体と背景で明暗の差がある場合(逆光シーンなど)や、暗い場所などで実際よりも明るく映る場合など。



明るさを調節する

1 撮影スタンバイ中にオートロックスイッチをまん中にする。

2 明るさボタンを押す。
押したときに自動調節されていた値が出て明るさが固定される。



3 明るさダイヤルを回して、好みの明るさを選ぶ。
アイリス(レンズ絞り)はOPEN~CLOSE、ゲインは0(-3)dB~+18dBの範囲で変わる。

■ -3dBについて

メニューのカスタムプリセットのゲインシフトで-3dBを選択したときのみ選ぶことができます。

■ ファインダー内のアイリス

値、ゲイン値の表示について
プログラムAEのどれかを選んでいるときは、明るさボタンを押しても明るさダイヤルの情報は表示されません。

■ 明るさを調節中は

- コントロールダイヤル、シャッタースピードボタンは使えません。
- プログラムAEボタンを押すと明るさ調節は解除されません。

シャッタースピードを調節する

1 撮影スタンバイ中にオートロックスイッチをまんにする。

2 ファインダーにプログラムAEの \overline{AE} Aか \overline{AE} S、 \overline{J} が出ていたら、消えるまでプログラムAEボタンを押す。

3 シャッタースピードボタンを押す。

押したときに自動調節されていた値が出て固定される。

さらに押すと $1/100$ 、 $1/1000$ と出てきます。

4 コントロールダイヤルを回して、好みの値を選ぶ。

次のように変わる。

$1/4$ 、 $1/8$ 、 $1/15$ 、 $1/30$ 、…、 $1/4000$ 、 $1/6000$ 、 $1/10000$

数値が小さくなる(ファインダー内の表示が大きくなる)ほどシャッタースピードが速くなり、数値が大きくなる(ファインダー内の表示が小さくなる)ほどシャッタースピードが遅くなる。

■ 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると

シャッタースピードによっては、画面が明るくなったり、暗くなったりする現象(フリッカー)が起こったり、色が変わったりすることがあります。このような場合には、シャッタースピードを関東地方など

50Hzの地域では $1/100$ に、関西地方など60Hzの地域では $1/60$ に固定してください。

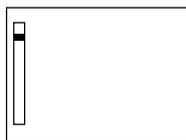
■ シャッタースピードボタンを押したときの表示について
2度押すと、 $1/100$ が出ます。もう1度押すと $1/1000$ になります。ここからコントロールダイヤルですばやく $1/1000$ 以上の高速スピードに設定できます。

■ シャッタースピードの $1/4$ 、 $1/8$ 、 $1/15$ 、 $1/30$ は、デジタル機能スイッチを「ズーム/ワイドTV」にしているときのみ選択できます。

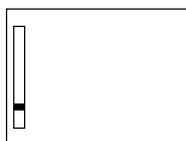
手動調節で撮る(つづき)

明るさ調節例

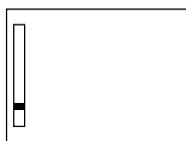
暗い場面を忠実に撮影したいとき



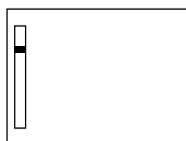
明るさを下げる。



背景が明るすぎて、被写体が黒くつぶれる(逆光)とき



明るさを上げる。



手動調節した設定値を保持する

設定が終わったら、オートロックスイッチを下げて「ホールド」にする。

プログラムAE、明るさ、シャッタースピード、ホワイトバランス、録音レベルの各ボタンとコントロールダイヤルおよび明るさダイヤルが動かなくなります。

明るさの調節をやめる

明るさボタンを押して明るさバー表示を消す。

シャッタースピードの調節をやめる

シャッターの値が消えるまでシャッタースピードボタンを押す。

明るさ/シャッタースピードの調節をやめ、プログラムAEに戻す

プログラムAEボタンを押して、いずれかのプログラムAE表示を出す。

すべての項目を自動調節に戻す

オートロックスイッチを上げて、「オートロック」にする。

手動調節した設定値を変える

変えたい項目に▶が付いているとき

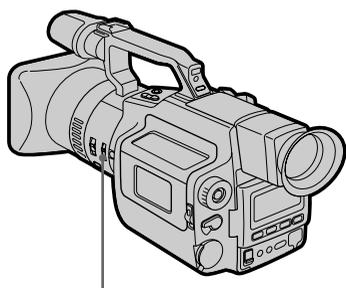
コントロールダイヤルを回して、設定値を変える。

■ 明るさを上げすぎると画面が多少ざらつくことがあります。

■ 手動調節をやめた項目の値は明るさは自動調節になります。

NDフィルターを使う

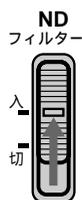
本機には、NDフィルター(光量1/16相当)が内蔵されています。NDフィルターを使うと、明るすぎる場面を撮るときに生じるぼけを防ぎ、はっきりときれいに撮れます。



NDフィルタースイッチ

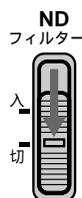
ファインダー内に「ND ON」が点滅したとき

NDフィルタースイッチを「入」にする。



ファインダー内に「ND OFF」が点滅したとき

NDフィルタースイッチを「切」にする。



使
い
な
す

手動調節で撮る(つづき)

ゼブラパターンを使って調節する

ゼブラパターンとは、ファインダー内に映る画像のなかで、輝度が一定レベルを超える部分に出る、ななめの縞模様のことです。ゼブラパターンの出る部分は白とびが生じることがあります。そのため、撮影の前にメニュー画面でパターンが出るよう設定し、明るさ、シャッター速度を調節するときの目安にできます。



ゼブラパターン

1

撮影スタンバイ中に開くスイッチを下にずらし、バッテリーカバーを開ける。

2

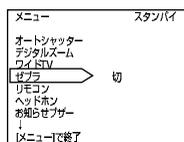
メニューボタンを押す。

メニュー画面が出る。

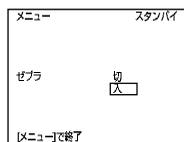
3

「ゼブラ」を「入」にする。

①▲または▼ボタンを押して、「ゼブラ」を選び、決定ボタンを押す。



②▼ボタンを押して、「入」を選び、決定ボタンを押す。



4

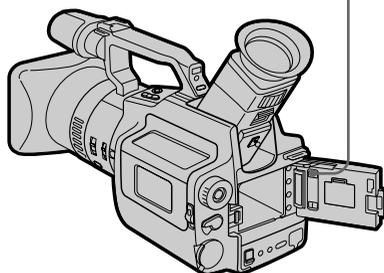
メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

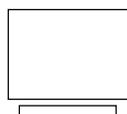
■ ゼブラパターンはテープには記録されません。

手振れ補正を解除する

手振れ補正スイッチ



手振れ補正「入」



手振れ補正「切」

手振れ補正はカメラの揺れを検知して、その揺れを補正します。

カメラを三脚に取り付けているときは手振れの心配はありません。手振れ補正を解除して本機を使うこともできます。

1

「開く」スイッチを下にずらし、バッテリーカバーを開ける。

2

手振れ補正スイッチを「切」にする。

手振れ補正表示(📷)が消える。

手振れ補正を働かせるとき

手振れ補正スイッチを「入」にする。

📷が出る。

使
い
な
す

❏ 手振れ補正機能とは、ハンディカムを手にとって撮るときに効果がある機能です。

📷 手振れ補正が「入」になっていても、手振れが大きすぎると、補正されないことがあります。

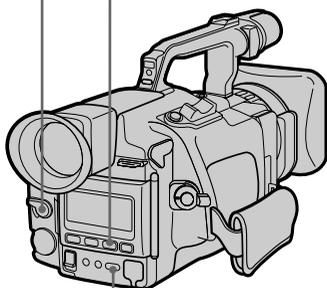
📷 テレコンバージョンレンズやワイドコンバージョンレンズ(別売り)を取り付けると、手振れ補正が効きにくくなります。

自然な色あいに調節する — ホワイトバランス

説明 これから撮ろうとする光のもとで、白いものは白く、自然な色あいの画像になるように調節することをホワイトバランスを合わせるといいます。通常は、自動的にホワイトバランスの調整が行われています。

いつ使う? パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき、または夜景やネオンサインなどを屋外で撮るときなど。

オートロックスイッチ
ホワイトバランスボタン



☺(ワンプッシュホワイトバランス)ボタン

1 撮影中または撮影スタンバイ中にオートロックスイッチをまん中にする。

2 ホワイトバランスボタンを押す。

押すたびに、ファインダー内の表示が、表示なし(自動調節) → ☺ → * (屋外) → ☼ (屋内)と変わる。

右の表を見て、条件にあった表示を出す。

自動調節に戻す

オートロックスイッチを上げる。または表示が消えるまでホワイトバランスボタンを押す。

■ ファインダー内の☺について
遅い点滅：ホワイトバランスが未設定
早い点滅：☺ボタンでホワイトバランス調節中
点灯：ホワイトバランス設定終了

■ ☺ボタンを押しても☺表示が点滅から点灯に変わらないときは
ホワイトバランスボタンを押して、表示なし(自動)にするか、オートロックスイッチを上げ、「オートロック」にして撮影します。

■ スタジオ照明やビデオライトで撮影する場合は

☼を出して撮影することをおすすめします。

■ 蛍光灯照明下で撮影する場合は

ホワイトバランスを自動調節にするか、☺を出して撮影することをおすすめします。☼を出して撮影すると、ホワイトバランスが正しくとれない場合があります。

手動で色あいを調節するほうがよい場合

撮影条件例	ホワイトバランス表示
<ul style="list-style-type: none"> パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき スタジオなどビデオライトの下で撮るとき ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき 	☀(屋内)にする。
<ul style="list-style-type: none"> 夜景やネオン、花火などを撮るとき 日の出、日没などを撮るとき 屋光色蛍光灯の下で撮るとき 	★(屋外)にする。
<ul style="list-style-type: none"> 単一色の被写体や背景を撮るとき 	☺にする。

☺(ワンプッシュホワイトバランス)ボタンを使った調節

被写体を照らす照明条件が固定の場合、その条件のまま撮影ができる機能です。被写体のまわりの条件に影響されないで、被写体そのものの色を自然に出します。リチウム電池が入っていれば、電源を取りはずしても、約1時間は設定した条件を記憶しています。

- 1 オートロックスイッチをまんな中にする。
- 2 ホワイトバランスボタンを押して、ファインダーに☺を出す。
- 3 白い被写体(紙、壁など)をファインダーいっぱいに映す。
- 4 ☺ボタンを押す。
ファインダー内の☺表示が、早い点滅に変わる。
ホワイトバランスが調節されてカメラに記憶されると、点灯に変わる。

■ 光源が変わったときは

- 撮影スタンバイ中にホワイトバランスを合わせなおしてください。ただし、撮影中は☺ボタンを押しても設定されません。
- アイリス(レンズ絞り)やシャッタースピードはホワイトバランスと関連がありません。

それらを手動調節で設定しておいて、そのまま屋外から屋内、または屋内から屋外に移動した場合には、オートロックスイッチを1度「オートロック」にして、その後もう1度手動側(まんな)に合わせてください。

- 「オートロック」で撮影していて、屋外から屋内、または屋内から屋外へ移動した場合、あるいはバッテリーを交換した場合、スタンバイスイッチを押上げてからレンズを10秒間くらい白っぽい被写体に向けてください。それから撮影を始めるとよりよい色合いに調節されます。

録音レベルを調節する

説明 録画するときの、音声の大きさ(録音レベル)を設定できます。ヘッドホンをつけてレベルを確認することをおすすめします。

いつ使う? 好みの録音レベルに合わせたいとき。

録音レベルを自動で調節する

オートロックスイッチを「オートロック」にする。

録音レベルを手動で調節する

- 1 オートロックスイッチをまん中にする。
- 2 録音レベルボタンを押す。



「**◆**」を出す。

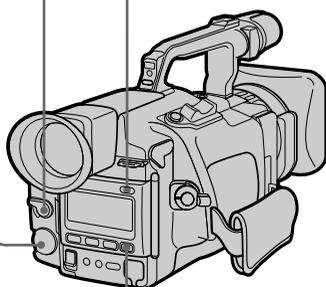
- 3 コントロールダイヤルを回して、録音レベルを調節する。ピークランプが点灯しないように調節する。ヘッドホンをつけて録音レベルを確認することをおすすめします。



調整範囲は0(無音)~10まで、0.5ごとの21段階。横に出る少数点(.)は0.5を意味していません。

コントロールダイヤル

オートロックスイッチ
ピークランプ



録音レベルボタン

- 手動調節した録音レベルを保持するには
オートロックスイッチを「ホールド」にします。
- 調節した録音レベルの保持期間は
電源を切ったあと、約5分間です。その後は自動的に工場出荷時と同じ7.5に設定され

ます。電源が入っていれば録音レベルは保持されます。

- 手動調節をやめて自動調節に戻すには
録音レベルボタンを押して、「**◆**」を消します。
- シャッタースピードを変えたりプログラムAEボタンを押すと**◆**が消えて、録音レベルの

調節はできなくなります。

もう一度録音レベルボタンを押して**◆**を出すと調整できます。

- DV方式では、ステレオ1とステレオ2の2つのステレオ音声を記録できますが、本機では撮影している音声はステレオ1のみに記録されます。

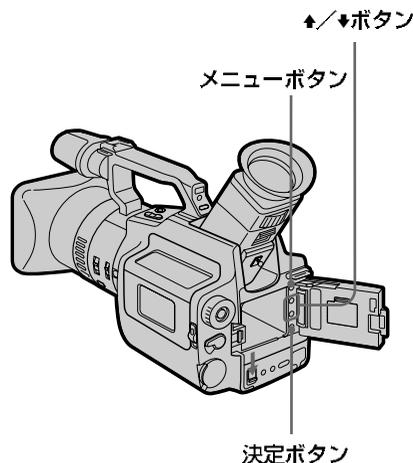
画質設定を記憶させる — カスタムプリセット

説明 好みに合わせた画質で撮影できるように、あらかじめビデオカメラを調節できます。

この機能を使って撮影するときには、必ずビデオカメラをテレビにつないで、画像を確認しながら調節してください。

カスタムプリセットを「切」にしておけば、出荷時の画質設定で撮影できます。

いつ使う? 明るさや色あいをあらかじめ自分で調節しておいて撮影するとき。



1 撮影スタンバイ中に「開く」スイッチを下にずらし、バッテリーカバーを開ける。

2 メニューボタンを押す。

メニュー画面が出る。

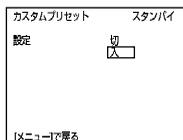
3 「カスタムプリセット」を「入」にする。

① ↑または↓ボタンを押して「カスタムプリセット」を選び、決定ボタンを押す。

カスタムプリセット画面が出る。

② ↓ボタンを押して、「設定」を選び、決定ボタンを押す。

③ ↑ボタンを押して、「入」を選び、決定ボタンを押す。



画質設定を記憶させる —カスタムプリセット(つづき)

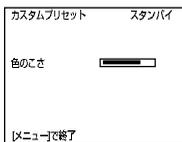
4

↑または↓ボタンを押して設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

5

テレビに映る画像を見ながら、↑または↓ボタンを押して画質の調整をし、決定ボタンを押す。

標準値に対して上下3段階の調節ができる。



設定	設定内容	画像の変化
色のかさ	好みの濃さに	薄くなる↔濃くなる
シャープネス	画像の輪郭	柔らかな画像に ↔くっきりした 画像に
WBシフト	好みの色あいに	青味がる↔赤 味がる
AEシフト	好みの明るさに	暗めに撮影する ↔明るめに撮影 する
ゲインシフト	ゲインシフト切 り換え	0dB↔-3dB

6

メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

■ ゲインシフトとは

明るい場面では自動露出補正のゲインをできるだけ-3dBになるように自動調節して撮影します。そのため、明るい場面ではノイズを少なくして撮影できます。暗い部分では通常と同じです。

カスタムプリセット機能で設定した画質で撮影する

- 1 撮影スタンバイ中にメニューボタンを押す。
- 2 「カスタムプリセット」を「入」にする。
 - ①▲または▼ボタンを押して「カスタムプリセット」を選び、決定ボタンを押す。
 - ②▼ボタンを押して「設定」を選び、決定ボタンを押す。
 - ③▼ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 メニューボタンを押す。
[CP]表示が出る。

カスタムプリセットを使った撮影をやめる

- 1 撮影スタンバイ中にメニューボタンを押す。
- 2 「カスタムプリセット」を「切」にする。
 - ①▲または▼ボタンを押して「カスタムプリセット」を選び、決定ボタンを押す。
 - ②▼ボタンを押して「設定」を選び、決定ボタンを押す。

③▲ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。

- 3 メニューボタンを押す。
[CP]表示が消える。

カスタムプリセットの設定を標準に戻す

- 1 撮影スタンバイ中にメニューボタンを押す。
- 2 ▲または▼ボタンを押して「カスタムプリセット」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▼ボタンを押して「リセット」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 メニューボタンを押す。

カスタムプリセットの設定を確認する

撮影スタンバイ中または撮影中にカスタム確認ボタンを押す。カスタムプリセットの設定が画面に出る。



- 必ず、調節したい項目に適した被写体を撮影しながら調節してください。

場面を頭出しする

説明 本機で使用するミニDVカセットには、撮影日時などのデータを記憶するためのカセットメモリー（C/Mマーク）が付いているものがあります。リモコンを使えば撮影日時のデータを使って録画した場面を探せます（カセットメモリーサーチ機能）。この機能を使うとフォト撮影の場面だけでも探せます。また、カセットメモリーの有無にかかわらず、現在のテープ位置から前後の録画を探せます。

いつ使う？ 録画を始めた部分を後になって探したいとき。



撮影日時を画面に出して頭出しする - カセットメモリーサーチ機能

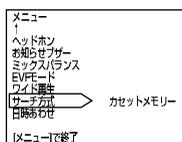
1 電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 「開く」スイッチを下にずらし、バッテリーカバーを開ける。

3 メニューボタンを押す。
メニュー画面が出る。

4 「サーチ方式」を「カセットメモリー」にする。

①▲または▼ボタンを押して「サーチ方式」を選び、決定ボタンを押す。



■ 途中で記録されていない部分があるテープでは、正確にサーチできなかったり、データが正しく保存されなかったりする場合があります。

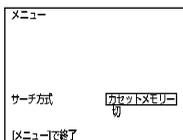
■ 現在のテープの位置が、頭出ししたい場面の先頭と近すぎる場合は頭出しできないことがあります。

■ カセットメモリーが付いているカセットを使う場合は

- ・必ずリチウム電池がセットされた状態で使ってください。
- ・カセットの金メッキ端子を汚さないようご注意ください。カセットサーチが正しく動かないことがあります。詳しくは66ページをご覧ください。

■ メモリーが付いていないカセットを使った場合はメニューで「サーチ方式」を「カセットメモリー」にしてもカセットメモリーサーチはできません。

- ②▲ボタンを押して、「カセットメモリー」を選び、決定ボタンを押す。



5

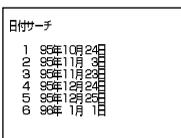
メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

6

リモコンのサーチ選択ボタンを押して日付サーチかフォトサーチを選ぶ。

日付サーチ：日付で探すとき



フォトサーチ：静止画だけを探すとき

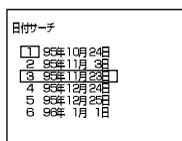


7

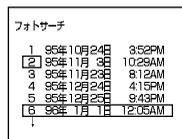
◀◀または▶▶ボタンを押して、頭出ししたい録画の日付(またはフォト)番号を選ぶ。

カセットメモリーサーチが始まる。

長いカーソルで頭出ししたい番号を選びます。(◀◀で上に動き、▶▶で下に動く。)



日付サーチの画面



フォトサーチの画面

サーチを止める

□停止ボタンを押す。

■ 頭出し後は

日付サーチ時は再生に、フォトサーチ時は一時停止状態になります。

■ 短いカーソルについて

前回長いカーソルで頭出しした位置を表します。

■ 4キロビットのカセットを使うと

カセットメモリーサーチで日付サーチは6日分まで、フォトサーチは43枚分まで頭出しできます。

■ カセットのCII4Kマークについて

この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット(CII16Kマークが本体側面についています)まで対応しています。

場面を頭出しする(つづき)

カセットメモリー機能を使わずに頭出しする

1 電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 「開く」スイッチを下にずらし、バッテリーカバーを開ける。

3 メニューボタンを押す。
メニュー画面が出る。

4 「サーチ方式」を「切」にする。

①▲または▼ボタンを押して「サーチ方式」を選び、決定ボタンを押す。

②▼ボタンを押して、「切」を選び、決定ボタンを押す。

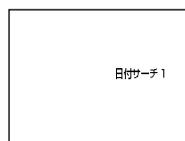
5 メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

6 リモコンのサーチ選択ボタンを押して日付サーチかフォトサーチを選ぶ。

7 ◀◀または▶▶ボタンを押して、頭出しを始める。

押した回数だけ、前または後の場面が頭出しされる。(◀◀で数が減り、▶▶で数が増える。)



サーチを止める

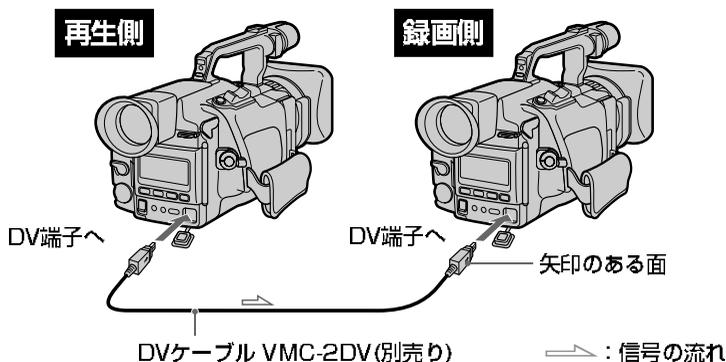
□停止ボタンを押す。

ダビング編集する

DVケーブルでつなぐ

説明 本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のDVケーブル VMC-2DV(別売り)でつなぎダビング、編集ができます。デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。なお、DVケーブルで本機と接続できるのは1台だけです。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 1 両機の電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 再生側のテープを再生し、録画を始めたい場面でII一時停止ボタンを押す。
- 3 録画ボタン2つを同時に押し、録画側を録画一時停止状態にする。
- 4 両機のIII一時停止ボタンを同時に押して、録画を始める。



■ 本機は録画側としても使えます。DVケーブルをつなぎかえなくても録画機または再生機として使えます。録画機として使うときは、ファインダーや接続したモニターに「DV入力」の表示が出るのを確認してください。両方の機器に出ることもあります。

■ ダビング編集するときはLANC端子で接続すると、他の機器から本機を制御できて便利です。

■ 本機を録画側として使用した場合、カセットメモリのデータはダビングされません。

■ 静止画をDV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。

AV接続ケーブルでつなぐ

説明 本機と他のビデオ機器をAV接続ケーブルでつなぎます。他のビデオを録画機として使い、ダビング、編集ができます。本機は再生機としてお使いください。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 再生側のテープを再生し、録画を始めたい場面でII一時停止ボタンを押す。

3 録画側を録画一時停止状態にする。

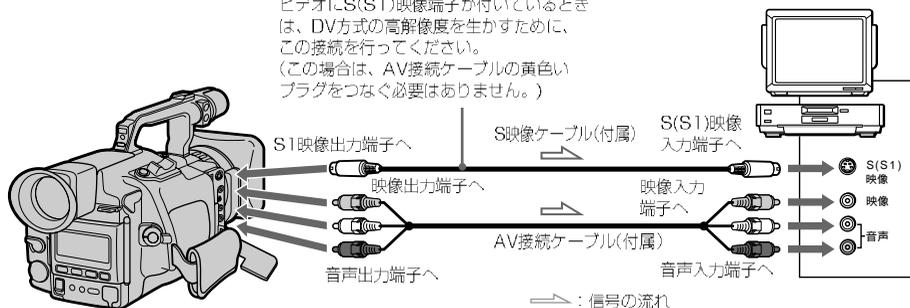
4 両機のII一時停止ボタンを同時に押して、録画を始める。

再生側

録画側

入力切り換えスイッチを「外部入力(ライン)」にする。

ビデオにS(S1)映像端子が付いているときは、DV方式の高解像度を生かすために、この接続を行ってください。
(この場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグをつなぐ必要はありません。)



■ 画面表示(16ページ)は消してください。

テープに記録されてしまいます。リモコンの画面表示ボタンを押して消します。

■ 録画側のビデオは、DV方式だけでなく、**B・Hi8・Hi8i**・**VHS・VHS-C・SVHS・SVHS-C**・**Beta**方式のどのビデオでも使えます。

■ ファインシンクロエディット対応

本機を再生機として、ファインシンクロエディット機能があるビデオデッキと本機のLANC端子をLANCケーブルでつなげると、より精度の高い編集ができます。

■ 録画側ビデオの音声入力ひとつ(モノラル)の場合

AV接続ケーブル(付属)の黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぎます。(赤いプラグはどちらにもつなぎません。)音声はモノラルになります。

記録済みテープに映像と音声を挿入する

説明 DV端子のついたビデオ機器とつなぐと、録画済みテープの指定した部分に、他の映像と音声、撮影日時、カメラ情報を挿入できます。57ページの接続と準備をし、他機に挿入したい部分のいったテープを入れておきます。

編集前

挿入部分の開始点(c)

挿入部分の終了点(a、b)



編集後



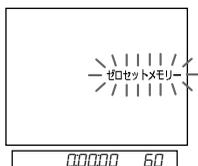
挿入した部分(前の映像・音声は消えます)

1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 他機(再生側)で、挿入したい部分の始めを探し、再生一時停止状態にする。

3 本機で、挿入部分の終了点を探し、再生一時停止状態にする(a)。
エディットサーチ(14ページ)を使うと便利です。

4 本機のゼロセットメモリボタンを押す(b)。「ゼロセットメモリ」が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、タイムコードが「0:00:00」になる。



④ 新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えますのでご注意ください。

❑ 新しく挿入された部分を再生すると
終了点の画像が乱れることがあります。故障ではありません。

❑ 終了点を設定せずに録画するときは
上記手順3、4をとばします。終了したいところで再生停止ボタンを押します。

5 本機で、挿入部分の開始点を探し、録画一時停止状態にする(c)。

6 再生機と本機の一時停止状態を同時に解除する。

本機の挿入部分に、新たに再生側の映像と音声記録され始める。終了点(タイムコード「0:00:00」)付近で、自動的に本機は停止して、録画が終わり、ゼロセットメモリーが解除されます。

終了点の位置を変える

手順5の後でゼロメモリーボタンをもう1度押し、「ゼロセットメモリー」表示を消して、手順2からやり直す。

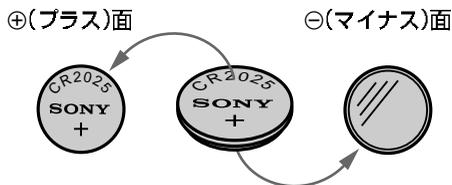
途中で止める

□停止ボタンを押す。

ボタン型リチウム電池を交換する

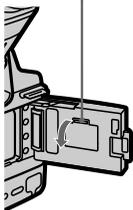
説明 電源をつけてから交換します。
ボタン型リチウム電池は⊕と⊖の向きを合わせて、正しく入れてください。ボタン型リチウム電池がなくなると、合わせた日付や時刻が消えてしまいます。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。

いつ使う? 電源スイッチを「カメラ」にすると、ファインダーに \odot が点滅するとき

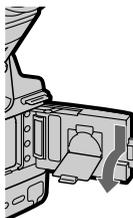


1 バッテリーカバーを開けてリチウム電池ぶたを手前に引く。

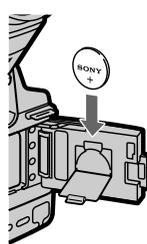
リチウム電池ぶた



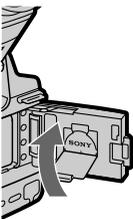
2 ボタン型リチウム電池を押し下げながら引き出す。



3 新しいリチウム電池CR2025を⊕(プラス)面が見えるようにはめ込む。



4 リチウム電池ぶたを元に戻す。



④ ボタン型リチウム電池について

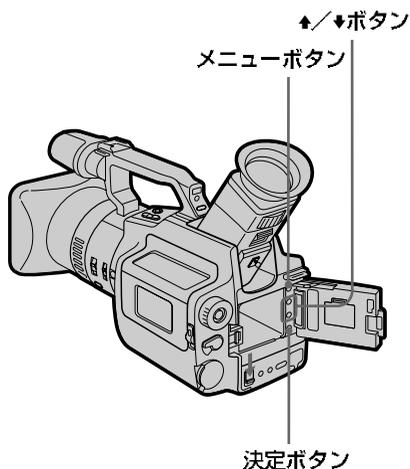
- ボタン型リチウム電池を誤って飲み込むことのないように、本機および電池は特に幼児の手に届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲みこんだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接続不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。

■ お買い上げ時に装着済みのボタン型リチウム電池は、1年もたないことがあります。

日付・時刻を合わせ直す

説明 お買い上げ時には、あらかじめ日付・時刻は設定されています。ボタン型リチウム電池を交換するときにも、電源を取り付けたまま行えば、日付・時刻を合わせ直す必要はありません。

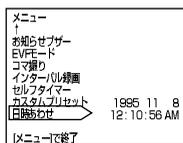
いつ使う? 電源を取り付けないでボタン型リチウム電池を交換したときや、電源を取り付けていないときにボタン型リチウム電池が消耗したときなど。



1 撮影スタンバイ中または「ビデオ」のとき「開く」スイッチを下げ、バッテリーカバーを開ける。

2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

3 ↑または↓ボタンを押して「日時あわせ」を選び、決定ボタンを押す。



例：1995年11月15日午前
10:30に合わせる。
年→月→日→時→分の順で合わせ
ます。

注意など

日付・時刻を合わせ直す(つづき)

4

「年」を合わせる。



◆または◆ボタンを押して「年」を合わせ、決定ボタンを押す。◆ボタンを押すごとに1年ずつ進む。1995年に合わせるときは、決定ボタンだけを押す。

5

「月」を合わせる。



◆または◆ボタンを押して「月」を合わせ、決定ボタンを押す。◆ボタンを押すごとに1月ずつ進み、押し続けると早く進む。行きすぎたら、◆ボタンを押せば元に戻る。

6

手順5と同様に、「日」、「時」を合わせる。

7

「分」を合わせて、時報と同時に決定ボタンを押す。

時計が動き始める。

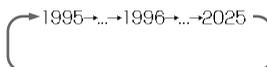
8

メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

■ 真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示されます。

■ 年表示は次のように変わります。



ビデオカセットについて

使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、ミニDVカセットのみ使えます。

Mini DVマークのついたカセットをお使いください。

■ Hi8方式や、VHS・VHS-C・SVHS・SVHS-C・β・ED Beta方式のビデオカセットは使えません。

著作権信号について

再生するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットは本機で再生して見ることはできません。このようなカセットを再生しようとするとモニターやビューファインダーに「COPY INHIBIT」(コピー禁止)の表示が現われます。

なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットをDVケーブルを通じて本機で録画することはできません。このようなカセットの再生信号が本機に入力されると、モニターやビューファインダーに「COPY INHIBIT」(コピー禁止)の表示が現われます。

■ 音声モードについて

本機は12ビットモード(32kHz)、ステレオ1のみに記録しますが、ステレオ1と2のどちらに記録された音声も再生できます。

また、16ビットモード(32kHz、44.1kHzまたは48kHz)で記録された音声も再生できます。

■ 本機は、MEテープで最高の画質が得られるように作られています。それ以外のテープを使用すると、十分な画質を得られない場合があります。貴重な記録を高画質で残せるように、MEテープのご使用をおすすめします。

注意

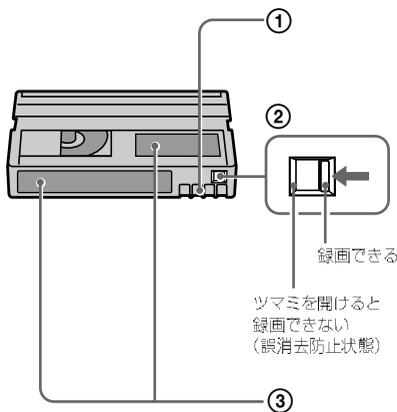
ビデオカセットについて(つづき)

ミニDVカセットについてのご注意

ミニDVカセットの金メッキ端子について

左図①の金メッキ端子が汚れたり、ごみが付着したりすると、カセットメモリーサーチ機能などが正しく働かないことがあります。

カセットの取り出し回数10数回をめやすにして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。



間違っって消さないために

カセットの背にある左図②の誤消去防止ツマミを横にずらして、「赤」にします。

ミニDVカセットにラベルを貼るときは

左図③の場所以外には、絶対に貼らないでください。故障の原因となります。

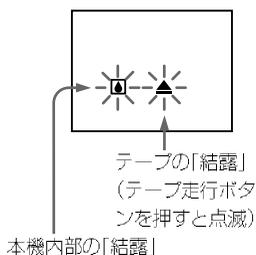
ミニDVカセットの使用後は

ご使用後はテープを始めまで巻き戻して、ケースに入れた上で立てて保管するようにしてください。

お手入れについて

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因となります。結露が起これると、ファインダーに下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。



結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、▲カセット取り出しボタン以外は動きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れても警告表示が出ず、カセットを入れてテープ走行ボタンを押しても▲が点滅しなれば使用できます。

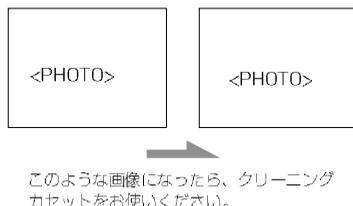
ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。このような症状が出ないよう、録画の前などに、別売りのクリーニングカセットDVM12CLを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。次のような症状が出たときにも使えます。

使用中に次のような症状になったときは、ヘッドが汚れています。

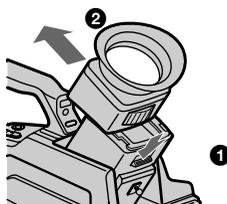
- ・ファインダー内に⊗が点滅する。
- ・再生画像に四角いノイズが出る
- ・再生画像の一部が動かない
- ・再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像



ビューファインダーをきれいにする

- 1 つまみを下にずらしながら、2 接眼部をはずす。



- 2 カメラ用のブロワーブラシなどで、ゴミを取り除く。



- 結露は次のように、本機を温度差のある場所へ移したり、湿度の高い場所に置いておいたりすると起きます。

- ・スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき。
- ・冷房の効いた部屋や車内から寒い屋外へ持ち出したとき。

- ・スコールや夏の夕立のあと。
- ・温泉など高温多湿の場所。

- 結露を起こりにくくするために
本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度にじんできら取り出します。

- ヘッドは長時間使用すると磨耗します。

クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの磨耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買いあげ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

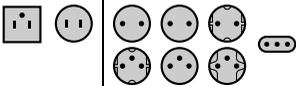
海外で使うとき

本機は海外でもお使いになります。

別売りのACパワーアダプターAC-V615は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーパックも充電できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたすねの上、ご用意ください。

海外でのコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	
使用する変換アダプター	不要です。ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。主に北米、南米などの場合。  主にヨーロッパなどで使います。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

④ 日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）を採用している国および地域は右の通りです。（五十音順）

- ・アメリカ合衆国
- ・エクアドル
- ・エルサルバドル
- ・カナダ
- ・キューバ

- ・グアテマラ
- ・グアム
- ・コスタリカ
- ・コロンビア
- ・スリナム
- ・セントルシア
- ・大韓民国
- ・台湾
- ・チリ

- ・ドミニカ
- ・トリニダード・トバゴ
- ・ニカラグア
- ・ハイチ
- ・パナマ
- ・バミューダ
- ・バルバドス
- ・フィリピン
- ・プエルトリコ

- ・ベネズエラ
- ・ペルー
- ・米領サモア
- ・ポリビア
- ・ホンジュラス
- ・ミクロネシア
- ・ミャンマー
- ・メキシコ

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	回転2ヘッド 12ビット(非直線)、 32kHz(ステレオ1)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	***DVマークの付いたミニDV カセット
テープ速度	約18.81mm/秒
録画時間	60分(DVM60ME使用時)
再生時間	60分(DVM60ME使用時)
早送り/巻き戻し時間	2分30秒(DVM60ME使用時)
撮像素子	1/3インチCCD固体撮像素子(3CCD)
レンズ	10倍ズームレンズ f=5.9~ 59mm (35mmミリカメラ換算では 42~420mm) F=1.6~2.1 フィルター径 52mm TTLオートフォーカス機構付 き インナーフォーカスワイドマ クロ対応
色温度切り換え	自動追尾、☀ ※屋内(3200K)、*屋外 (5800K)
最低被写体照度	8ルクス
被写体照度範囲	8~100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上
シャッタースピード切り換え	1/4~1/10000

入・出力端子

S1映像出力端子	4ピンミニDIN(1) 輝度信号：1Vp-p、75Ω 不平衡、同期負 色信号：0.286Vp-p、75Ω 不平衡
映像出力端子	ピンジャック(1)、1Vp-p、 75Ω
音声出力端子	ピンジャック(2：L、R) 327mV、(47kΩ負荷時) インピーダンス2.2kΩ以下 特殊ミニジャックDC5V(1) ステレオミニジャック (φ3.5)(1)
RFU DC出力端子	
ヘッドホン端子	

LANC端子	ステレオミニミニジャック (φ2.5)(1)
外部マイク入力端子	ステレオミニジャック (φ3.5)(1)、0.388mV、 低インピーダンスマイク用 DC2.5~3V出力、 インピーダンス6.8kΩ
DC入力端子	4ピンコネクター
DV入力/出力端子	4ピン特殊コネクター

電源部、その他

電源電圧	バッテリー挿入口入力 7.2V 外部電源供給端子入力 8.4V
消費電力	カメラ録画時 9.5W
動作姿勢	水平、垂直
動作温度	0°C~+40°C
保存温度	-20°C~+60°C
最大外形寸法	110 x 144 x 329 mm (幅 x 高さ x 奥行き)
本体質量	約1.4 kg (バッテリー、 リチウム電池、テープ、 ジャックカバー含まず)
撮影時総質量	約1.6 kg (バッテリー-NP-F730、 リチウム電池CR-2025、 テープDVM60ME、 ジャックカバー含む)
内蔵マイクロホン	ステレオエレクトレット コンデンサーマイク
付属品	ワイヤレスリモコン(1) 単3形乾電池 (リモコン用、2) AV接続ケーブル(1) S映像ケーブル(1) アイカップ(大)(1) リチウム電池CR2025 (本体に装着済み、1) 取扱説明書(1) 安全のために(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

五十音順

アイリス(38ページ)

絞りのこと。レンズを通る光の量を調節する。

音声モード(22、65ページ)

音声の記録モードのこと。DV方式では、

- ① 12ビットモード(「ステレオ1」)と「ステレオ2」の2つのステレオ音声記録できる)
 - ② 16ビットモード(高音質で1つのステレオ音声記録できる)
- 本機は①のモードでのみ記録するが(ただし「ステレオ1」のみに記録する)、①と②のどちらのテープも再生できる。

ゲイン(41ページ)

映像信号の大きさを電氣的に増幅する度合のこと。被写体が暗いときなどにはゲインを上げる。ただし、ゲインを上げるとノイズが多くなる。

シャッタースピード(43ページ)

シャッターが開いている時間のこと。シャッタースピードが早いほど、動いている被写体でもブレの少ない画像を得られる。高速の被写体をはっきり撮影したいときは、シャッタースピードを上げる。本機では、電氣的にシャッタースピードを調節している。

ゼブラパターン(46ページ)

ファインダーに出る、被写体の信号レベルを示す編模様のこと。この模様が出る部分は、白とびすることがある。

タイムコード(11ページ)

テープ上の位置を映像とともに時・分・秒・フレーム(1フレーム=約1/30秒)単位で記録する機能。

1フレームが映像の1コマに対応している。DV方式ではフレーム単位でカウントできるので、テープ位置の正確なカウンターとして使える。

ドロップフレーム方式(11ページ)

本機はドロップフレーム方式を採用している。30フレーム/秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が29.97秒のNTSC映像信号との間に起きるずれは自動的に補正される。分の単位が更新されるときに、フレームを02から始めることで補正を行う。ただし分が10の倍数のときは00から始める。

プログラムAE(38ページ)

被写体や撮影状況によって、好みの撮影モードで撮影できる機能。本機では4種類(オートモードを含む)のプログラムAEモードから選べる。

ホワイトバランス(48ページ)

白い被写体が白く映るように色を調整すること。本機では自動設定、手動設定のほかに*(屋外)、*(室内)の設定を選べる。

リモコンモード(20ページ)

リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1、VTR2、VTR3、VTR4、IDの5種類ある。本機はVTR4とIDのどちらかを選ぶ。大勢の人が集まって撮影するときや誤動作を避けたいときは、IDモードを選ぶ。

アルファベット順

DV方式(65ページ)

コンシューマー向けに新たに開発されたデジタルVTRの方式。

映像および音声信号をデジタル信号でテープに記録するため、高画質、高音質で記録できる。

ID-1方式(28ページ)

ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を通信するシステムのこと。この方式に対応しているテレビとつなぐと、自動的にテレビのワイドモードが切り換わる。

ID-2方式

ID-1方式に加え、著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステム。

NDフィルター(45ページ)

アイリスやシャッタースピードを調節することなしに光量を減らすための光学フィルター。本機のNDフィルターは内蔵式で、スイッチで入/切する。

NTSC方式(68ページ)

日本やアメリカ合衆国などで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式のビデオでは再生できない。本機を海外で使うときはご注意ください。

RFUアダプター(15ページ)

ビデオの映像・音声信号をテレビ電波と同じ信号に変換し、テレビの1または2チャンネル(国内仕様の場合)で再生できるようにするもの。

S映像端子/S1映像端子(15ページ)

映像信号を構成する色信号と輝度(白黒)信号を分離して、より鮮明な映像を再現する端子。S1映像信号では、通常のS映像信号にワイドモード自動選択用の信号が加算されている。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません。

万一、デジタルビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合などにより録画や再生ができなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

この製品の保証は国内に限られています

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用の負担については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして、故障がどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の“ソニーで相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

必ず注意など

これらは登録商標です。

Mini DV Digital Video Cassette

CI//



■このマークは、ソニーのビデオ機器関連商品の純正マークです。ソニーのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはソニーのロゴマークがついているビデオ機器関連商品をお勧めします。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましよう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

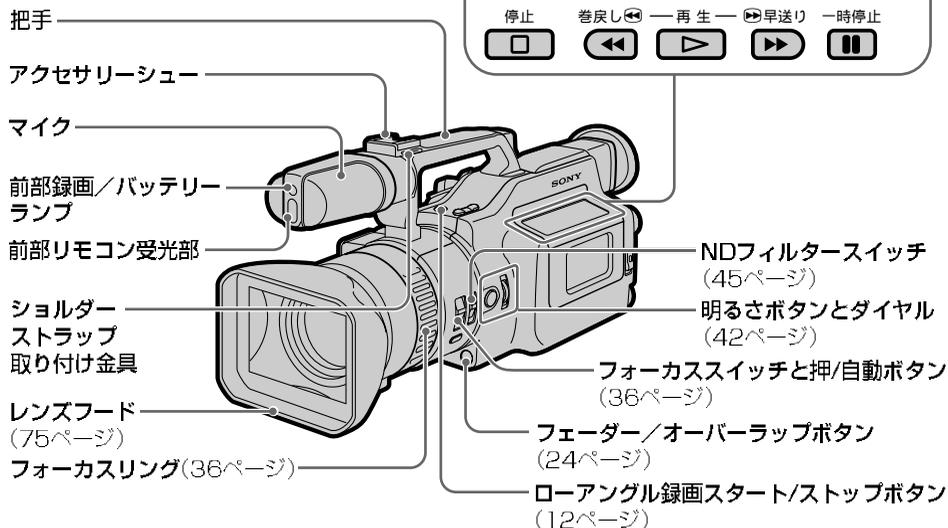
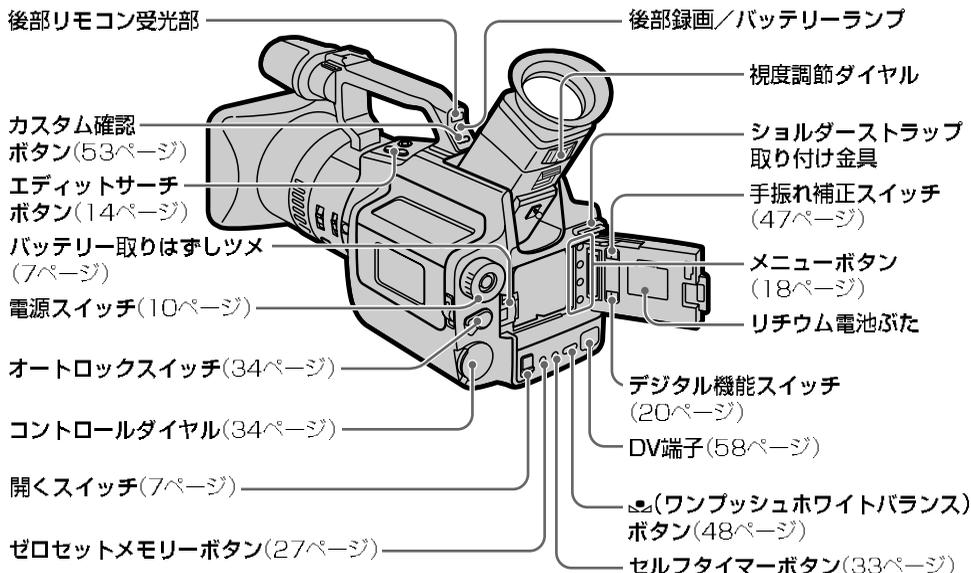
ファインダーに見慣れない表示がでたときは、77ページをご覧ください。

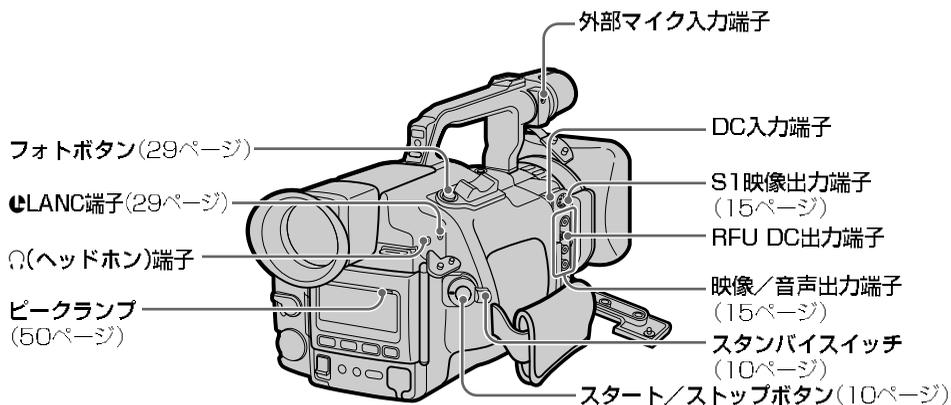
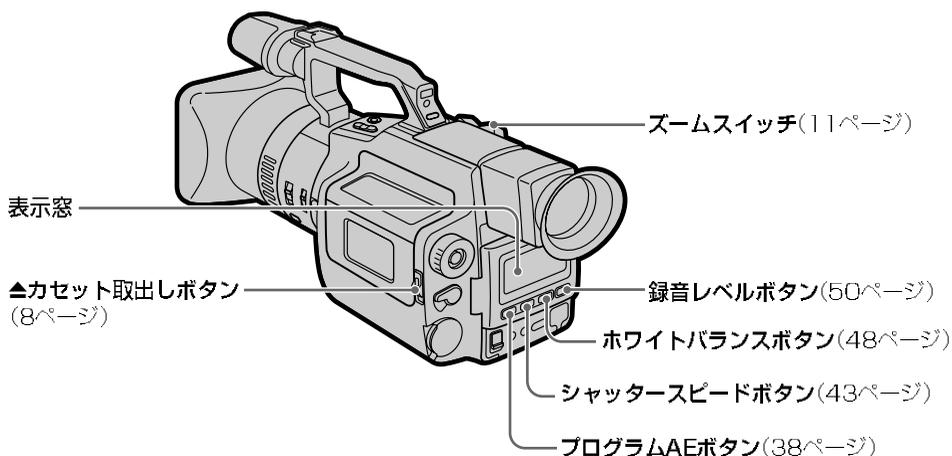
	こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。	参照ページ
撮影中	スタート/ストップボタンを押してもテープが走行しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチが「カメラ」になっていない。 テープが終わりになっている。 カセットが誤消去防止状態になっている。 テープがドラムヘッドに貼りついている(結露)。 スタンバイスイッチが「フォトスタンバイ」になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「カメラ」にする 巻き戻すか、新しいカセットを入れる。 そのカセットで撮るなら誤消去防止ツマミを赤が見えない側にする。または新しいカセットを入れる。 カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 ふつうの「スタンバイ」にする。 	10 17 66 67 10
	電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたときに、バッテリーの消費を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れる。	1度スタンバイスイッチを下げてから、もう1度上げる。	—
	ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	9
	手振れ補正が働かない。	手振れ補正スイッチが「切」になっている。	「入」にする。	47
	オートフォーカスが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> 手動ピント合わせになっている。 オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。 	<ul style="list-style-type: none"> フォーカススイッチを「自動」にする。 手動でピントを合わせて撮影する。 	36 36
	ファインダー内に❶が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	67
	デジタルズーム/ワイドTVが入にならない。	デジタル機能スイッチが「オーバーラップ」になっている。	「ズーム/ワイドTV」にする。	20
	オーバーラップができない。	デジタル機能スイッチが「ズーム/ワイドTV」になっている。	「オーバーラップ」にする。	24
	録音レベルメーターが動かない	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	50
	再生中	テープ走行ボタンが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 テープが終わりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ビデオ」にする。 テープを巻き戻す。

	こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。	参照 ページ
再生中	ろうそくの火やライトなどの明るい被写体を暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストの強い被写体の場合に出る現象で、故障ではない。(スミア現象)	—	—
	画像がぼやけたり、映らなかつたりする。	• テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。	• 調整し直す。	—
	ノイズが多かったり、映らなかつたりする。	• ビデオヘッドが汚れている。	• 別売りのクリーニングカセットできれいにする。	67
	音声が小さい。または聞こえない。	録音レベルを手動で小さくして撮影した。	—	—
撮影中・再生中	電源スイッチをビデオ／カメラにしても動作しない。	• バッテリーが消耗している／入れられていない／消耗が近い。 • AC/パワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	• 充電されたバッテリーを入れる。 • コンセントに差し込む。	7 23
	バッテリーの消耗が早い。	• 温度が極端に低いところで撮影／再生している。 • 充電が不十分。 • バッテリーそのものの寿命。	— • 十分に充電する。 • 新しいバッテリーに交換する。	— 6 —
	カセットが取り出せない。	• 電源(バッテリーやACパワーアダプター)がはずれている。 • バッテリーが消耗している。	• 電源をきちんと接続する。 • 充電されたバッテリーを入れる。	23 7
	回と△が点滅し、カセット取り出しボタン以外働かない。	• 結露	• カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	67
	ダビング編集時、DVケーブルを正しく接続しているのにモニター画像が出ない。	—	• DVケーブルを一度ぬいてからもう一度接続しなおしてください。	58
その他	付属のリモコンが働かない。	• メニューの「リモコン」を「切」にしている。 • リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。 • リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。 • 乾電池そのものの寿命。	• 「VTR4」または「IID」にする。 • 障害物を取り除く。 • ⊕極と⊖極を合わせて、正しく入れる。 • 新しい乾電池に交換する。	18 — 76 76
	ファインダー内にゴミが入っている。	—	接眼部を開けて、掃除する。	67

各部のなまえ

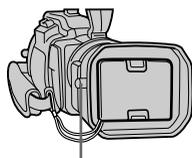
本体





■ レンズフードのはずしかた

コンバージョンレンズなどをつけるためにレンズフードをつけるためには、レンズフードをはずすときは、レンズフード固定ネジをゆるめて、レンズフードを左方向に回して(ねじって)はずします。



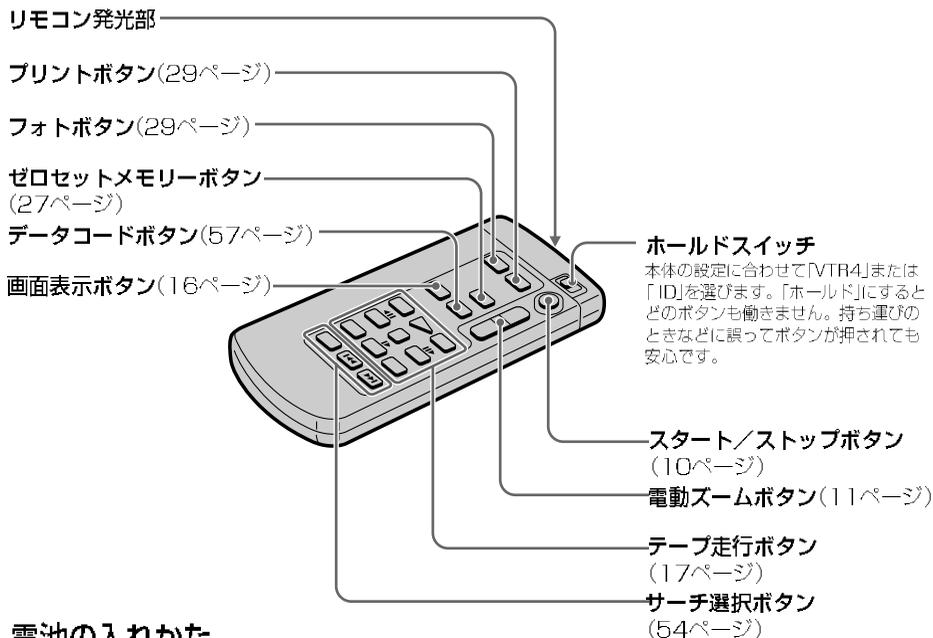
レンズフード固定ネジ

■ LANCⓄ(リモート)マークについて

Ⓞは、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

各部のなまえ(つづき)

リモートコマンダー



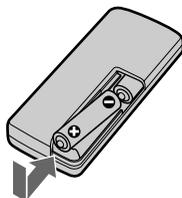
電池の入れかた

1 押しながらずらす。

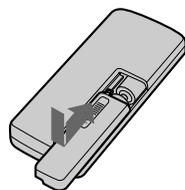


2 入れる。

単3形2本



3 元に戻す。



■ 乾電池について

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。

- 長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。液もれがおこったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

■ リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

- 付属のリモコンで本機を操作したときに、ほかのビデオデッキなどが誤動作することがあります。その場合、本機のリモコンモードを「ID」に切り換えるか、または黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。
- リモコン受光部との間に障害物がないようご注意ください。

リモコンのIDを登録する

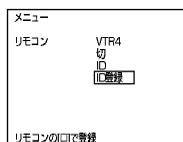
ホールドスイッチを「ID」にすると、他の人のリモコンで動作しないようにできます。「ID」に設定した場合には、本体に付属しているリモコンをお使いください。はじめてお使いになるときにリモコンのID登録をしてください。リモコンの登録は、次のようになります。

1 「開く」スイッチを下にずらし、バッテリーカバーを開ける。

2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

3 ↑または↓ボタンを押して「リモコン」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↓ボタンを押して「ID登録」を選ぶ。



5 リモコンのホールドスイッチを「ID」にする。

6 リモコンを本体に向けて、リモコンの□停止ボタンを押す。



「ピーッ」と鳴って、登録が完了します。カーソルはIDの位置に移ります。

7 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

注意

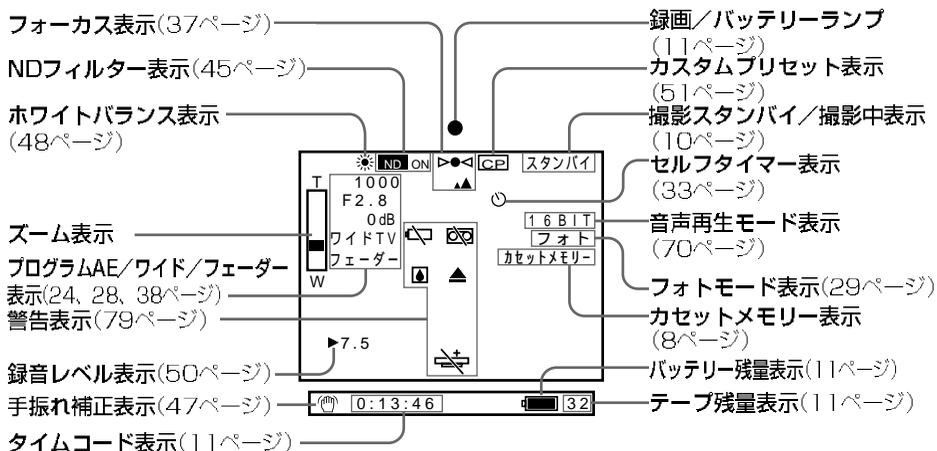
■ メニューでブザー音を「切」にしているときは
手順6の後でも、ブザー音は鳴りません。

■ リモコンの操作範囲
リモコンの届く範囲は屋内使用時で約5mです。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。

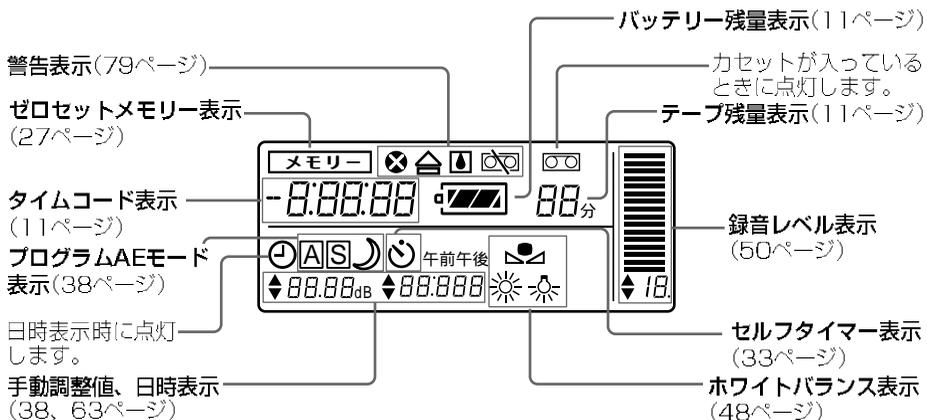
■ リモコンのIDを一度本機に登録すると
再び登録する必要はありません。メニューを「ID」に合わせ、リモコンのホールドスイッチを「ID」にしてお使いください。
■ 登録したIDはリチウム電池を交換しても消えません。

各部のなまえ(つづき)

ファインダー



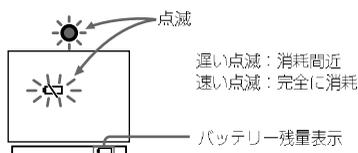
表示窓



警告表示

説明 ファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、()内のページにあります。

バッテリー残量

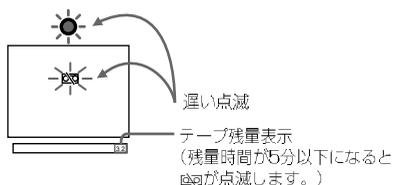


バッテリー残量表示について

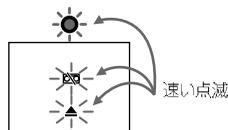


(残量表示が□になるとファインダーに⚡マークが点滅する。)

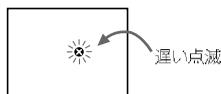
テープ残量



テープの終わり

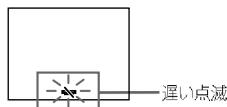


ヘッド汚れ(67ページ)

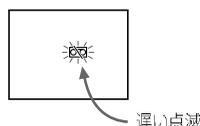


クリーニングカセットできれいにします。

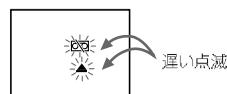
ボタン型リチウム電池の消耗/ボタン型リチウム電池が入っていない(62ページ)



カセットが入っていない

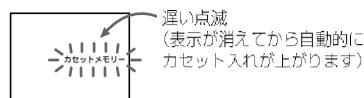


カセット誤消去防止(66ページ)

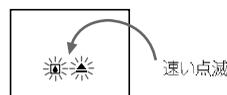


カセットの誤消去ツマミを確認する。

カセットメモリー書き込み中(8ページ)

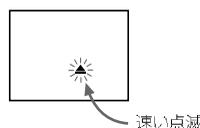


結露(67ページ)



テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

その他の異常



1度カセットを取り出す。かわらない場合は1度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示の消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

索引

五十音順

ア行

明るさ調節	42
アイリス優先モード	38
インターバル録画	30
エディットサーチ	14、26
オートロックスイッチ	34
オーバーラップ	24
お知らせゼパ	21、22
お手入れ	67

カ行

海外で使うとき	68
外部マイク (別売り)	11
カスタムプリセット	51
カセットの入れかた	8
カセットメモリーサーチ	54
カラーテレビ方式	68
画質設定	51
逆光	42
グリップベルト	12
警告表示	79
結露	67
広角	13
高速アクセス	17
故障かな?と思ったら	72
誤消去防止ツマミ	66
コマ送り	17
コマ撮り	32

サ行

サーチ方式	22、54
再生	15
撮影が終わったら	11
撮影する	10
撮影内容の確認	14
視度調節	9
手動調節	42
手動ピント合わせ	36
充電	6
充電確認マーク	7
ズーム	11
スロー再生	17
静止画	17、29

接続 (テレビで見るとき)	15
(編集のとき)	58
ゼブラパターン	46
セルフタイマー録画	33
ゼロセットメモリー	27

タ行

タイムコード	11、70
ダビング編集	58
使えるビデオカセット	65
つなぎ撮り	10
データコード	57
テープ残量表示	79
テープの終わり表示	79
手振れ補正	47
テレビで見る	16
電源 (家庭用コンセント)	23
(自動車の電源)	23
(バッテリー)	6
撮る姿勢	12

ナ行

2倍速	17
-----	----

ハ行

バッテリー残量表示	79
バッテリー	6
日付サーチ	54
日付・時刻合わせ	63
日付・時刻の記録	57
ビデオカセットについて	65
ビューファインダーの表示	78
ファインシンクロエディット	59
フェーダーボタン	24
フェードイン・フェードアウト	24
フォーカス	35
フォトサーチ	54
フォトモード撮影	29
フルモード	28
プログラムAE	38
ヘッド	67
ヘッドホン端子	75
ヘッド汚れ表示	79
望遠	11
ボタン型リチウム電池	62

マ行

メニュー	18
------	----

ヤ行

夜景モード	41
横長	28

ラ行

リモコン	76
リモコン受光部	74
リモコンのID	77
レックレビュー	14
録音レベル	50

ワ行

ワイド再生	22
ワイドTV	28

アルファベット順

ACパワーアダプター	23
AV接続ケーブル	59
COPY INHIBIT表示	65
DVケーブル	58
DV方式	65、70
ID-1方式	28、70
LANC端子	75
NDフィルター	45
NTSC方式	68
RFUアダプター	15、70
S映像端子	15、70

ご相談になるときは次のことを

お知らせください

●型名: DCR-VX1000

●故障の状態: できるだけ詳しく

●お買い上げ年月日

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのелеクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111